

人びとと社会の現在地を把握 電通総研「クオリティ・オブ・ソサエティ年次調査」2021年版

2021年12月



➤ 本調査内容に関する問合せ先
電通総研：山崎、千葉、日塔
E-mail d-ii@dentsu.co.jp
電通未来予測支援ラボ：小椋、立木、小野
E-mail: future@dentsu.co.jp

■本調査設計の視点

電通総研と電通未来予測支援ラボは、社会と人の意識の変化に注目し、2021年10月に一般の人々12,000人に対して

「クオリティ・オブ・ソサエティ年次調査」を行ないました（第1回調査は2019年12月、第2回調査は2020年11月に実施し、今回は第3回調査）。

以下の3つの視点をもとに調査を設計することで、いまの人びとと社会の現在地を把握することを試んでいます。

- ①個人視点 ⇒個人の能動性・自律性 人びとは、よりよい人生のために前向きで自律的であるか
- ②家族・コミュニティ視点 ⇒社会集団の協調性・互助性 人びとは、よりよい人生のために、協力し合っているか
- ③社会視点 ⇒社会制度の信頼性・耐久性 人びとのよりよい人生のために、社会制度・システムは機能しているか

※次頁にて3つの視点を図解しています

【第1回調査概要】

調査時期 2019年12月
 調査地域 全国
 調査対象者 18歳～74歳までの男女

対象者割付

	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-74歳
男性	1,009	596	1,327	1,414	1,274	392
女性	956	1,188	1,212	850	1,426	356

※性×年代（10歳刻み）の人口構成比に揃えて回収

サンプル数 12,000人

調査方法 インターネット調査

調査実施機関 電通マクロミルインサイト

【第2回調査概要】

調査時期 2020年11月
 調査地域 全国
 調査対象者 18歳～74歳までの男女

対象者割付

	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-74歳
男性	1,004	1,051	1,236	1,025	1,175	479
女性	963	1,031	1,217	1,033	1,240	546

※性×年代（10歳刻み）の人口構成比に揃えて回収

サンプル数 12,000人

調査方法 インターネット調査

調査実施機関 電通マクロミルインサイト

【第3回調査概要】

調査時期 2021年10月
 調査地域 全国
 調査対象者 18歳～74歳までの男女

対象者割付

	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-74歳
男性	1,004	1,051	1,236	1,025	1,175	479
女性	963	1,031	1,217	1,033	1,240	546

※性×年代（10歳刻み）の人口構成比に揃えて回収

サンプル数 12,000人

調査方法 インターネット調査

調査実施機関 電通マクロミルインサイト

日本では解決すべき社会課題が山積しています。持続可能な社会に向けたSDGsの17の目標を達成する年として設定された2030年まで10年も残されていません。

日本はまた、同時に経済社会の変革も求められています。今後、世界規模で資源や食料の奪い合いが深刻になるでしょう。世界規模の気候変動危機に対して、政府も企業も2050年を目標に脱炭素化も求められています。しかし2050年は日本にとって人口減少社会のマイナス面が顕著になる時代でもあります。それを補ってなおかつ、いまのGDPをキープするためには、一人当たりGDPの上昇をもたらすような経済社会の変革が必要です。

社会課題の解決も経済社会の改革も、一人ひとりの意識変容が必須となります。望ましい未来を共有し、共鳴・共振することによって、社会のダイナミズムが生まれることが期待されているのです。

しかし日本の先行きが不透明な中、人びとの意識の変容は一様ではありません。人びとの意識がグラデーション状に変化していく間、多様な価値観がぶつかり合い、摩擦や分断が生じることが危惧されます。

一人ひとりがよりよい人生を実現しながら、摩擦や分断を回避して社会的合意形成を進めるためには、社会全体の方向性に関わる情報を幅広く共有し、丁寧に議論できることが不可欠です。

電通総研・電通未来予測支援ラボは、望ましい未来に向けた議論の一助となることを狙いとして、「個人」「家族・コミュニティ」「社会」の3つの視点から、人びとの意識と社会の現在地を把握するためのクオリティ・オブ・ソサエティ年次調査を継続して実施します。

よりよい社会・個人のよりよい人生の実現のためには、
個人の志向性だけでなく、
社会集団や社会制度など個人を支える基盤も合わせて捕捉することが
必須である、という仮説に基づき構造化

①個人視点

個人の 能動性・自律性

人びとは、よりよい人生のために
前向きで自律的であるか

- 心と身体健康度
- 自分が所属する社会階層
- 理想と働き方と現在の状況
- 仕事に関する能力開発
- 暮らしや人間関係に関する意見
- 今後住みたいと思う場所の重視点
- 子どもに身に付けてほしいもの
- 一年前と比較して増えたもの、減ったもの
- 興味のあるコンテンツ
- 商品やサービスなどの体験に求めるもの
- 日本人であることに誇りを感じるか
- 健康を守るために行っていること
- 現在の自分の状況

②家族・コミュニティ視点

社会集団の 協調性・互助性

人びとは、よりよい人生のために、
協力し合っているか

- 新しい家族の形
- 日本社会における外国人の立場や場面別の受容度
- コミュニティ互助意識（家族以外の相談相手）
- ボランティア活動状況/意向
- 個人データ提供許容度
- 個人データを保有企業/団体に対する信頼度
- 社会関係と人間関係
- 共感・尊重⇔わだかまり

③社会視点

社会制度の 信頼性・耐久性

人びとのよりよい人生のために、
社会制度・システムは機能しているか

- 日本の社会保障の安心感
- 情報源やメディアに期待していること
- さまざまな情報源やメディアが果たしている機能
- メディアの必要度
- テクノロジーや個人情報についての考え方
- より良い社会のためにロボットやAIに期待すること
- 今後の暮らしの見通し
- 社会や暮らし方などに関する意見
- 暮らしを支えるしくみや体制に対する満足度
- ワクチン接種状況・意向
- 感染症対策に対する行動・気持ち

①個人の能動性・自律性

人びとは、よりよい人生のために前向きで自律的であるか

クオリティ
オブ
ソサエティ

電通
総研

①個人の能動性・自律性 人びとは、よりよい人生のために前向きで自律的であるか

■身体と心の健康度

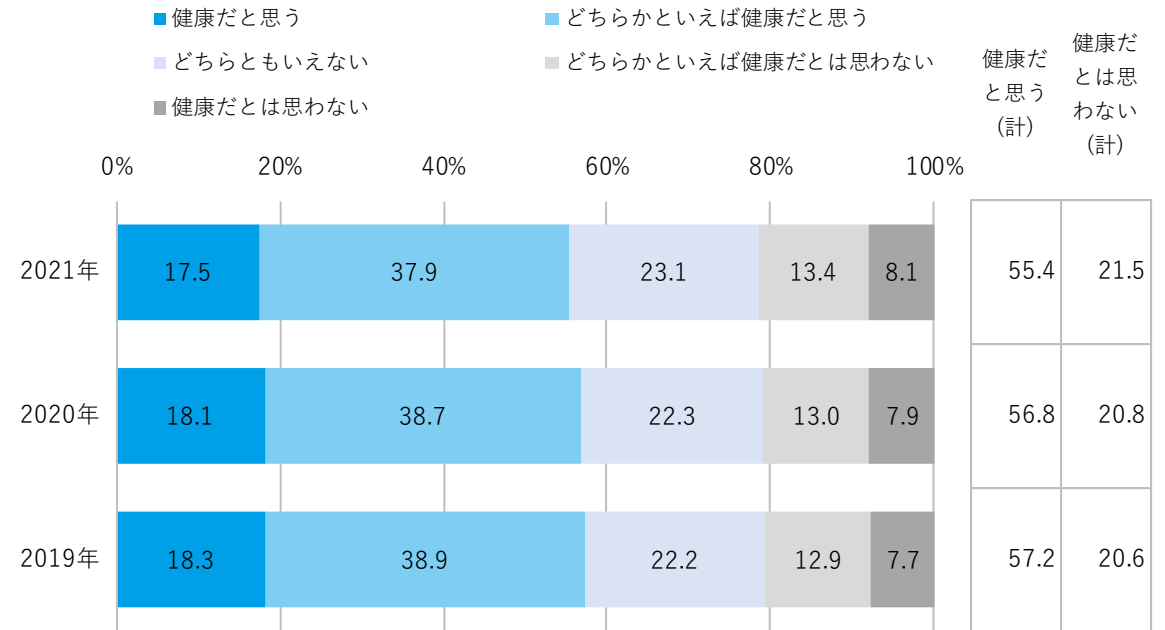
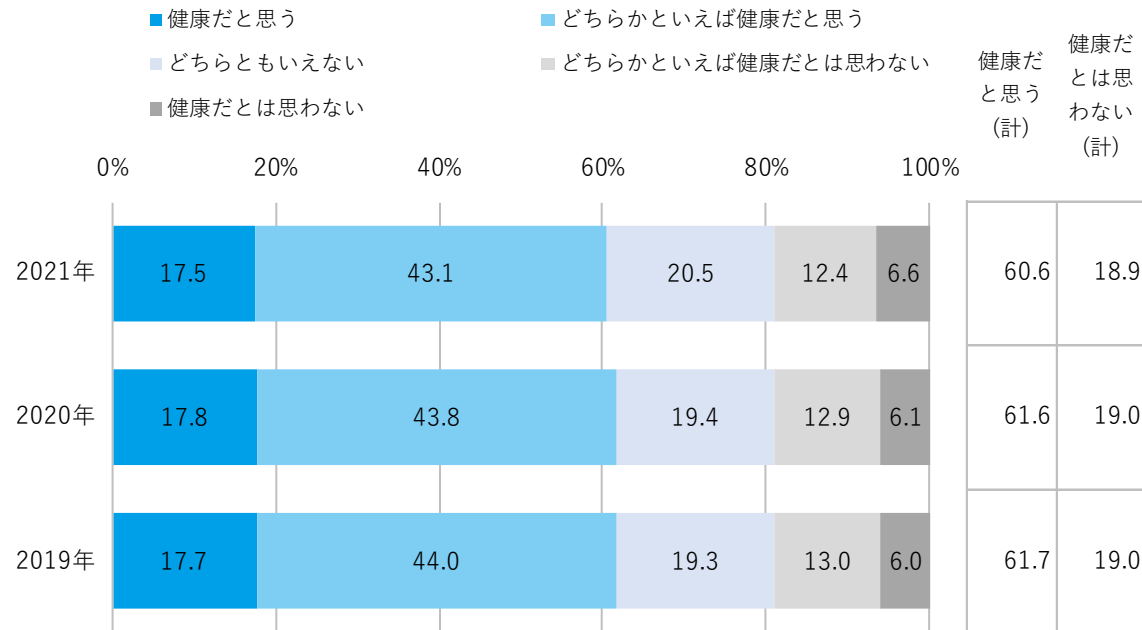
・身体の健康については60.6%が「健康」、心の健康は55.4%が「健康」と回答し、それぞれ18.9%、21.5%が「健康ではない」と回答している。

※2019年-2021年の比較：身体と心の健康度については、大きな変化は見られない。

Q.ご自分のことを健康だと思えますか。(1)身体の健康 (2)心の健康 それぞれついて、あてはまるものをお知らせください。(単一回答)

【身体の健康】

【心の健康】



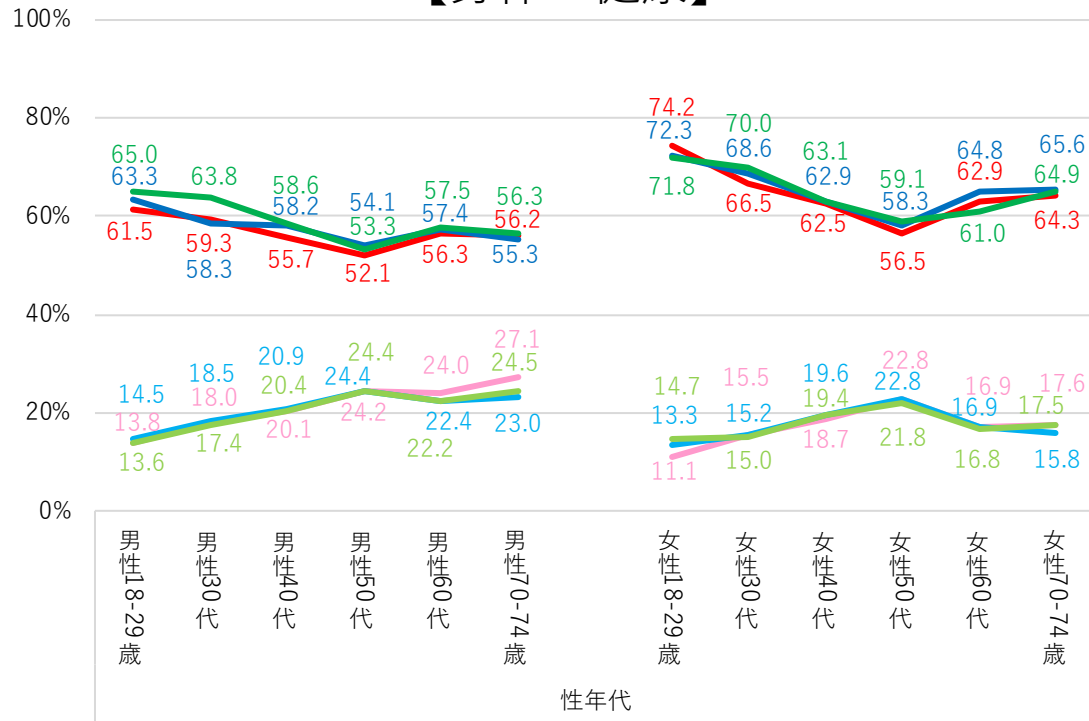
①個人の能動性・自律性 人びとは、よりよい人生のために前向きで自律的であるか

■身体と心の健康度

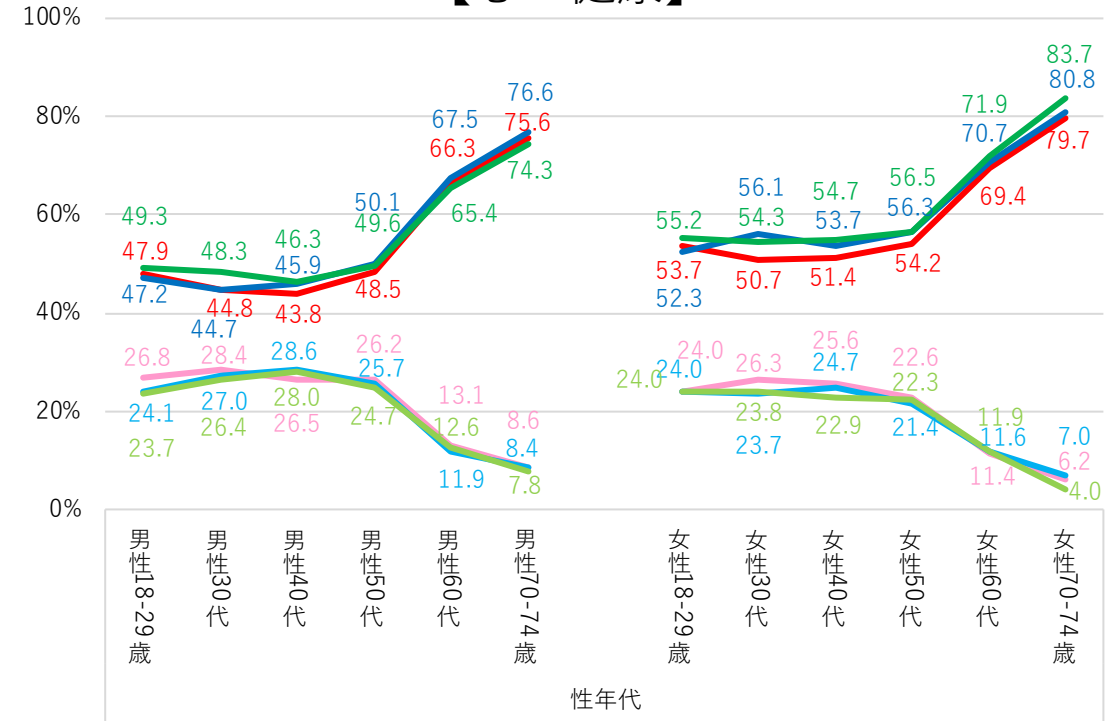
・2020年-2021年の比較では、「(身体の)健康だと思う」「(心の)健康だと思う」ともに同様の傾向。「(心の)健康だと思う」で女性30代が5.4pts低下。
 「(身体の)健康だと思わない」が男性70代で4.1pts上昇。

Q.ご自分のことを健康だと思えますか。(1)身体の健康 (2)心の健康 それぞれついて、あてはまるものをお知らせください。(単一回答)

【身体の健康】



【心の健康】



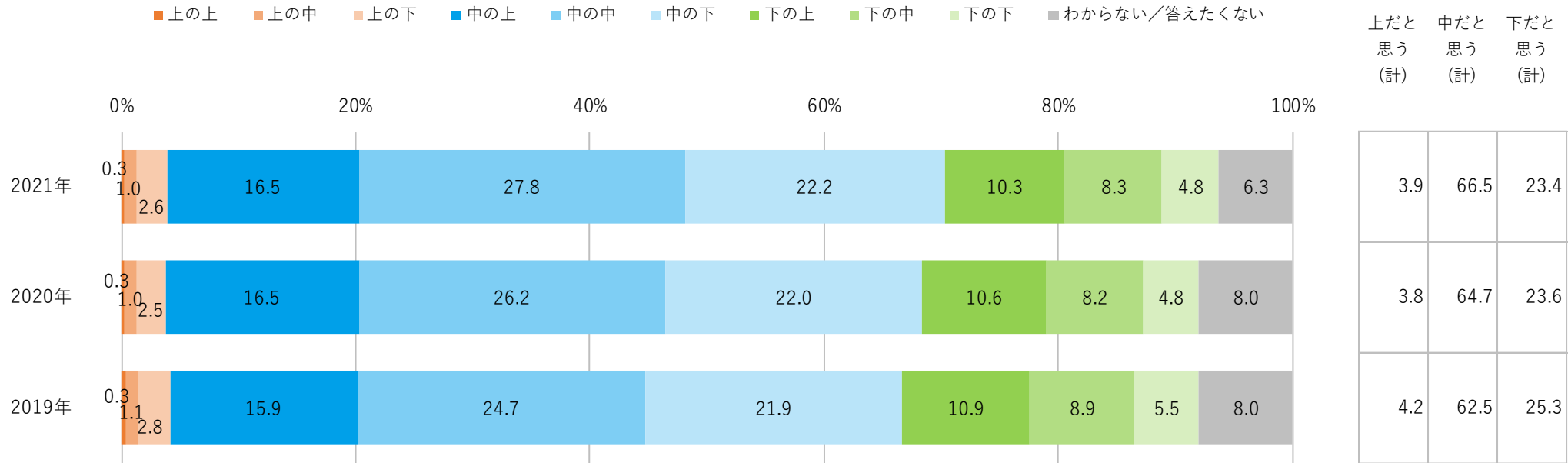
● 2021健康だと思う(計) ● 2021健康だと思わない(計)
● 2020健康だと思う(計) ● 2020健康だと思わない(計)
● 2019健康だと思う(計) ● 2019健康だと思わない(計)

■自分が所属する社会階層

・上だと思(計) 3.9% (3.8%)、中だと思(計) 66.5% (64.7%)、下だと思(計) 23.4% (23.6%) となっている。()内は2020年の数値。
 ※2019年-2021年の3回で比較すると、「中だと思(計)」がわずかに増加、なかでも「中の中」が増加し、「上」「下」がわずかに減少している。

Q.現在の日本の社会全体が、以下の階層に分かれるとすれば、あなた自身は、どれに入りますか。(単一回答)

【自分が所属する社会階層】

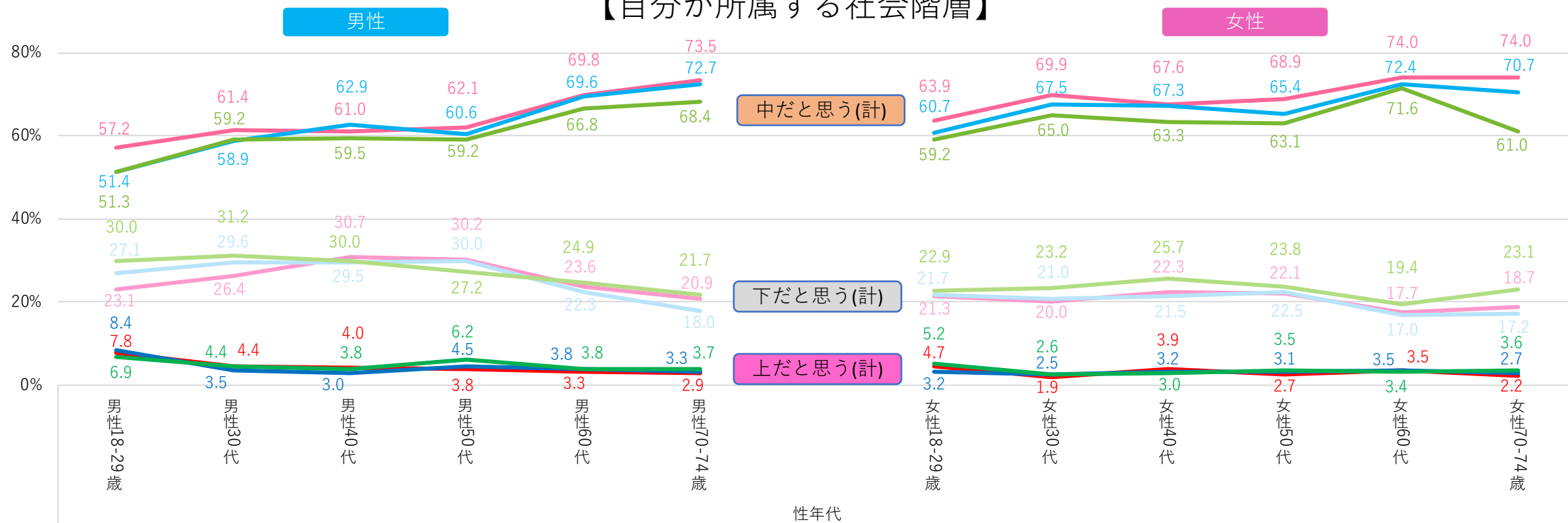


■自分が所属する社会階層

・2019年-2021年の比較では、男性では「中だと思ふ(計)」のスコアが、60代(66.8%から69.8%へ)と70代(68.4%から73.5%へ)が顕著に増加。女性では70代(61.0%から74.0%へ)で増加がみられた。「下だと思ふ(計)」では、男性18-29歳(30.0%から23.1%へ)と男性30代(31.2%から26.4%へ)でスコアが低下している。

Q.現在の日本の社会全体が、以下の階層に分かれるとすれば、あなた自身は、どれに入りますか。(単一回答)

【自分が所属する社会階層】



— 2021上だと思ふ(計) — 2021中だと思ふ(計) — 2021下だと思ふ(計) — 2020上だと思ふ(計) — 2020中だと思ふ(計) — 2020下だと思ふ(計) — 2019上だと思ふ(計) — 2019中だと思ふ(計) — 2019下だと思ふ(計)

①個人の能動性・自律性 人びとは、よりよい人生のために前向きで自律的であるか

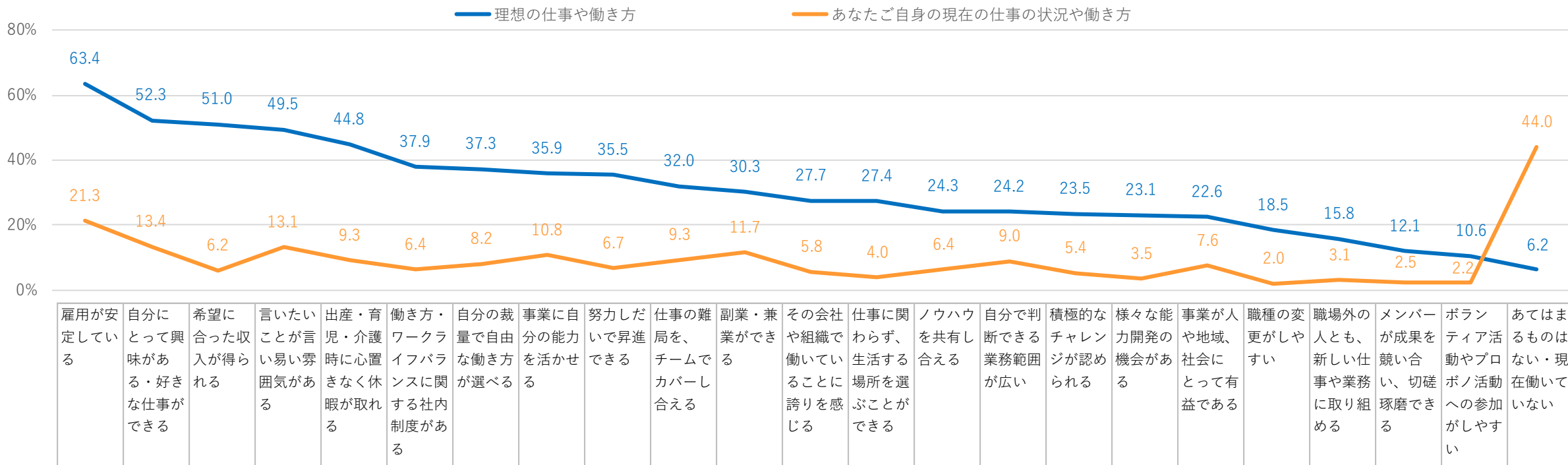
■理想の働き方と現在の状況

- ・『理想の働き方』で求めるのは「雇用が安定している」63.4%、「自分にとって興味がある・好きな仕事ができる」52.3%、「希望に合った収入が得られる」51.0%、「言いたいことが言い易い雰囲気がある」49.5%、「出産・育児・介護時に心置きなく休暇が取れる」44.8%など。
- ・『現在の仕事や働き方』であてはまるのは「雇用が安定している」21.3%、「自分にとって興味がある・好きな仕事ができる」13.4%、「言いたいことが言い易い雰囲気がある」13.1%、「副業・兼業ができる」11.7%、「事業に自分の能力を活かせる」10.8%など。
- ・『理想の働き方』と『現在の仕事や働き方』の数値の乖離は大きい。

Q.仕事や働き方について、お聞きます。

(1)次の中から、あなたにとって「理想の仕事や働き方」としてあてはまるものを、すべてお知らせください。(複数回答)

(2)次の中から、あなたご自身の「現在の仕事の状況や働き方」としてあてはまるものを、すべてお知らせください。(複数回答)



※「理想の仕事や働き方」のスコアで降順ソート

①個人の能動性・自律性 人びとは、よりよい人生のために前向きで自律的であるか

■理想の働き方と現在の状況：2020-2021の比較

・『理想の仕事や働き方』で増加したものは「働き方・ワークライフバランスに関する社内制度がある」(+2.0pts) 「言いたいことが言いやすい雰囲気がある」(+1.5pts) 「出産・育児・介護時に心置きなく休暇が取れる」(+1.3pts) 「職種の変更がしやすい」(+1.0pt)。多くの項目で微増しており、減少した項目が少ない。

※「自分の裁量で自由な働き方が選べる」(-0.6pts) 「職場外の人とも、新しい仕事や業務に取り組める」(-0.6pts) 「その会社や組織で働いていることに誇りを感じる」(-0.3pts) 「雇用が安定している」(-0.3pts) 「自分で判断できる業務範囲が広い」(-0.2pts) 「様々な能力開発の機会がある」(-0.1pts)

・『現在の仕事の状況や働き方』では、ほとんどの項目で微増。

Q.仕事や働き方について、お聞きします。

(1)次の中から、あなたにとって「理想の仕事や働き方」としてあてはまるものを、すべてお知らせください。(複数回答)

(2)次の中から、あなたご自身の「現在の仕事の状況や働き方」としてあてはまるものを、すべてお知らせください。(複数回答)

	雇用が安定している	自分にとって興味がある・好きな仕事ができる	希望に合った収入が得られる	言いたいことが言いやすい雰囲気がある	出産・育児・介護時に心置きなく休暇が取れる	働き方・ワークライフバランスに関する社内制度がある	自分の裁量で自由な働き方が選べる	事業に自分の能力を活かせる	努力しだいで昇進できる	仕事の難局を、チームでカバーし合える	副業・兼業ができる	その会社や組織で働いていることに誇りを感じる	仕事に関わらず、生活する場所を選ぶことができる	ノウハウを共有し合える	自分で判断できる業務範囲が広い	積極的なチャレンジが認められる	様々な能力開発の機会がある	事業が人や地域、社会にとって有益である	職種の変更がしやすい	職場外の人とも、新しい仕事や業務に取り組める	メンバーが成果を競い合い、切磋琢磨できる	ボランティア活動やプロボノ活動への参加がしやすい	あてはまるものはない・現在働いていない
理想の仕事や働き方：2021年	63.4	52.3	51.0	49.5	44.8	37.9	37.3	35.9	35.5	32.0	30.3	27.7	27.4	24.3	24.2	23.5	23.1	22.6	18.5	15.8	12.1	10.6	6.2
理想の仕事や働き方：2020年	63.7	51.7	50.7	48.0	43.4	35.8	37.9	35.5	35.4	31.4	29.5	28.0	27.4	23.7	24.4	23.1	23.2	22.2	17.4	16.4	11.7	10.5	6.7
2021年-2020年の差	-0.3	+0.6	+0.3	+1.5	+1.3	+2.0	-0.6	+0.4	+0.1	+0.6	+0.8	-0.3	0.0	+0.5	-0.2	+0.4	-0.1	+0.4	+1.0	-0.6	+0.3	+0.1	-0.5
現在の仕事の状況や働き方：2021年	21.3	13.4	6.2	13.1	9.3	6.4	8.2	10.8	6.7	9.3	11.7	5.8	4.0	6.4	9.0	5.4	3.5	7.6	2.0	3.1	2.5	2.2	44.0
現在の仕事の状況や働き方：2020年	21.0	13.1	5.7	12.8	8.8	6.1	8.5	10.4	6.4	9.2	10.9	5.8	4.0	6.2	9.5	5.5	3.5	7.2	1.9	3.1	2.9	2.1	45.1
2021年-2020年の差	+0.3	+0.3	+0.5	+0.4	+0.4	+0.3	-0.4	+0.5	+0.3	+0.2	+0.8	-0.0	0.0	+0.1	-0.5	-0.1	-	+0.4	+0.2	-0.0	-0.3	+0.1	-1.1

※「理想の仕事や働き方」のスコアで降順ソート ※2021-2020年の差：1.0以上は色付け/2.0以上は太字

(%)

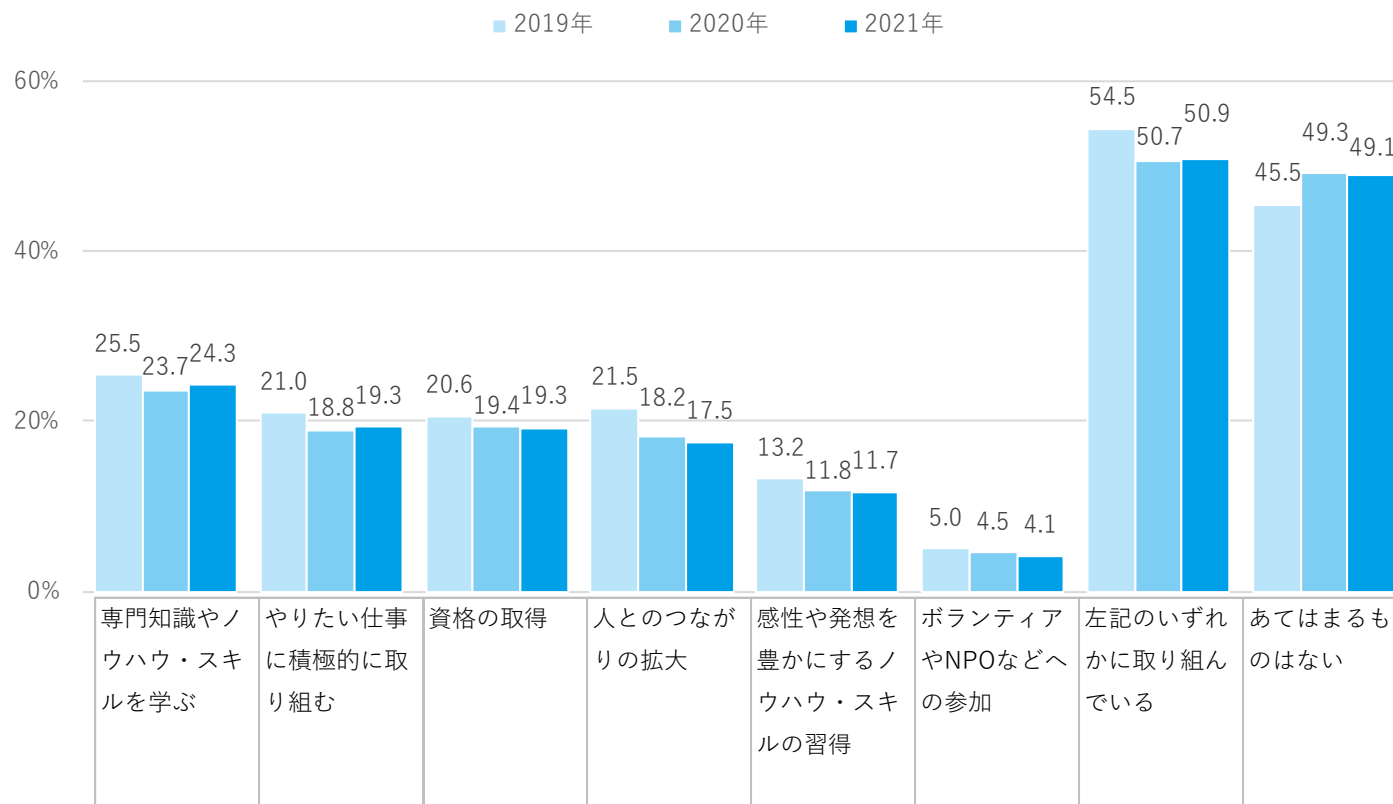
①個人の能動性・自律性 人びとは、よりよい人生のために前向きで自律的であるか

■仕事に関する能力開発

・『より良い仕事や収入を得ることを目的とした能力開発』として取り組んでいるものは、「専門知識やノウハウ・スキルを学ぶ」24.3%、「資格の取得」19.3%、「やりたい仕事に積極的に取り組む」19.3%、「人とつながりの拡大」17.5%、「感性や発想を豊かにするノウハウ・スキルの習得」11.7%、「ボランティアやNPOなどへの参加」4.1%など。

・「いずれかに取り組んでいる」の回答が約半数（50.9%）となっている。

Q.以下の中から、あなたが「より良い仕事や収入を得ることを目的とした能力開発」として取り組んでいるものについてあてはまるものをすべてお知らせください。（複数回答）



※2019年-2021年の比較

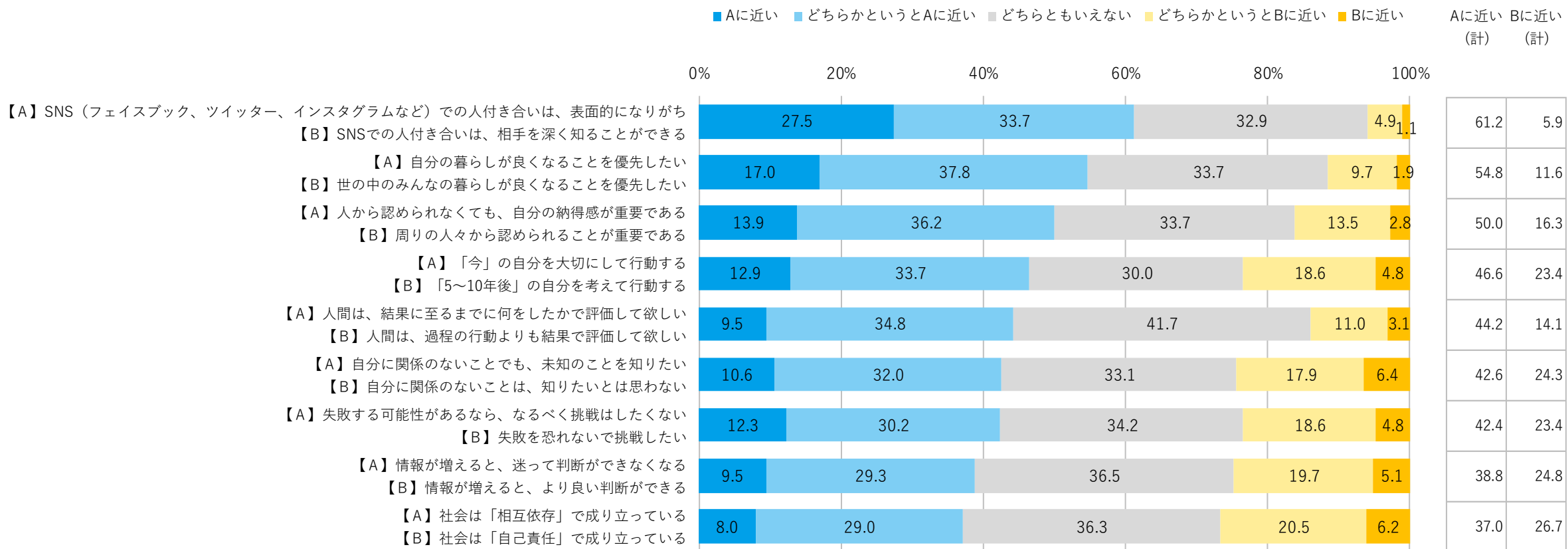
2019年-2020年で全般に数値が低下したが、2020年-2021年にかけては横ばい。

※2021年のスコアで降順ソート

■暮らしや人間関係に関する意見

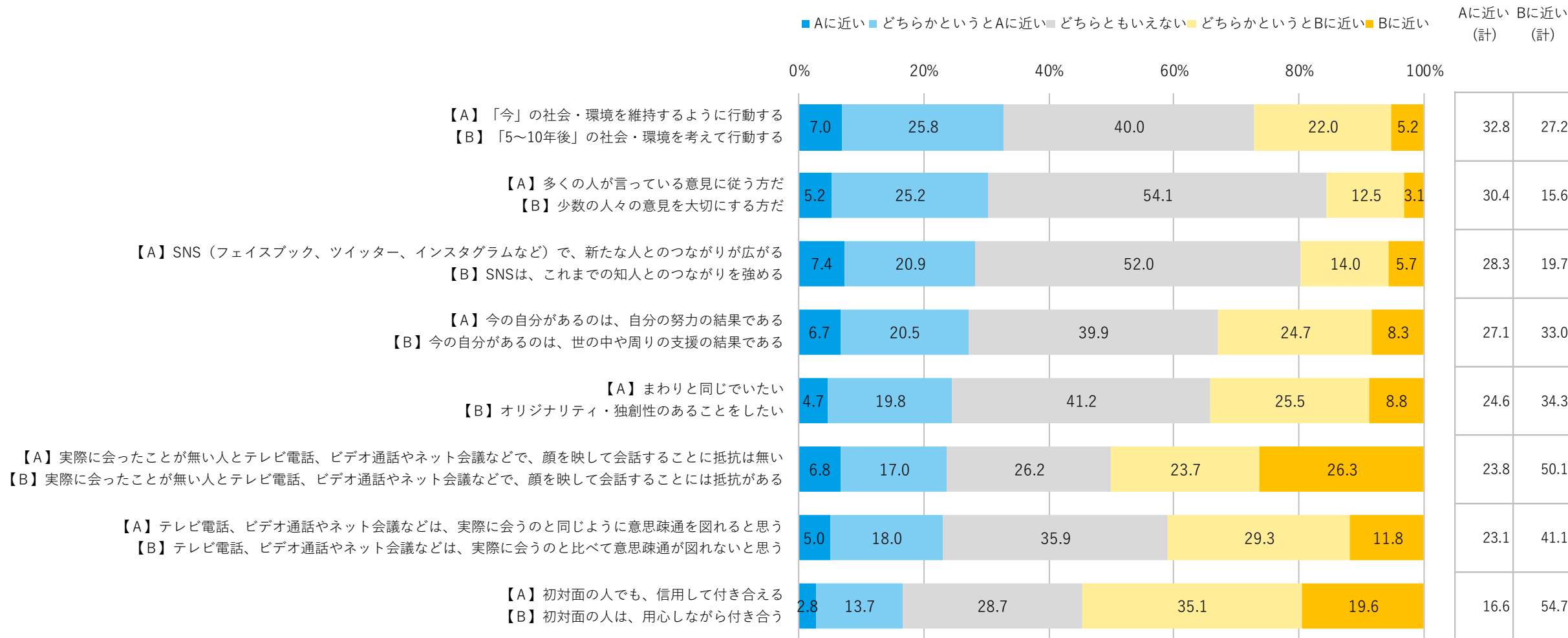
- ・ 「【A】 SNS（フェイスブック、ツイッター、インスタグラムなど）での人付き合いは、表面的になりがち」 61.2%、「【A】 自分の暮らしが良くなることを優先したい」 54.8%、「【A】 人から認められなくても、自分の納得感が重要である」 50.0%、（以下は次のページ） 「【B】 実際に会ったことが無い人とテレビ電話、ビデオ通話やネット会議などで、顔を映して会話することには抵抗がある」 50.1%、「【B】 初対面の人は、用心しながら付き合う」 54.7%などが高い。

Q.以下の事柄について、あなたの考えやお気持ちに近いものをお知らせください。（単一回答）



※「Aに近い (計)」のスコアで降順ソート

Q.以下の事柄について、あなたの考えやお気持ちに近いものをお知らせください。（単一回答）



※「Aに近い（計）」のスコアで降順ソート

■暮らしや人間関係に関する意見 ※2019年-2021年の比較

・ 2020年-2021年でみると、【A】は全ての項目で減少、【B】も多くの項目で減少。

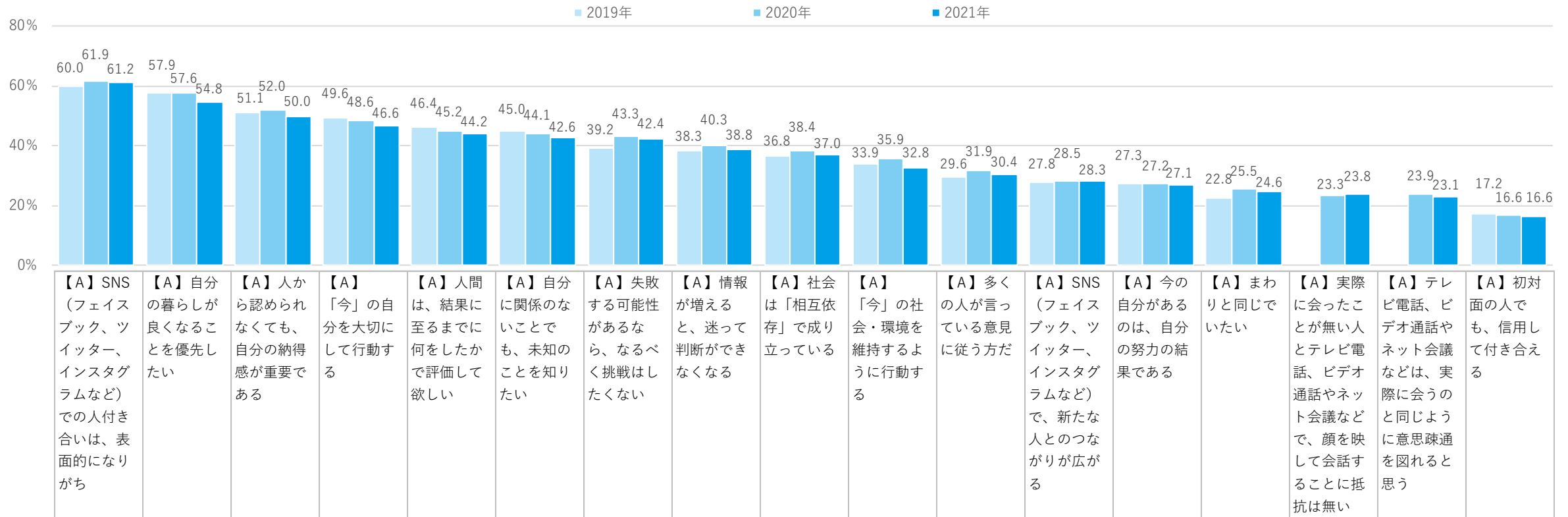
【A】「今」の社会・環境を維持するよう行動する(-3.1pts)が最も減少。ついで、【A】自分の暮らしが良くなることを優先したい(-2.8pts)が減少、【B】世の中みんなの暮らしが良くなることを優先したい(+1.5pts)。

・ 2019年-2021年の3回で変化が大きかった項目の多くで、2020年-2021年は微減しており、スコアが上昇した後に若干低下している状況が垣間見える。

【A】「失敗する可能性があるなら、なるべく挑戦はしたくない」(+4.1pts→-0.9pts) 【A】「まわりと同じでいたい」(+2.7pts→-0.9pts) 【A】「多くの人が言っている意見に従う方だ」(+2.3pts→-1.5pts)

Q.以下の事柄について、あなたの考えやお気持ちに近いものをお知らせください。(単一回答)

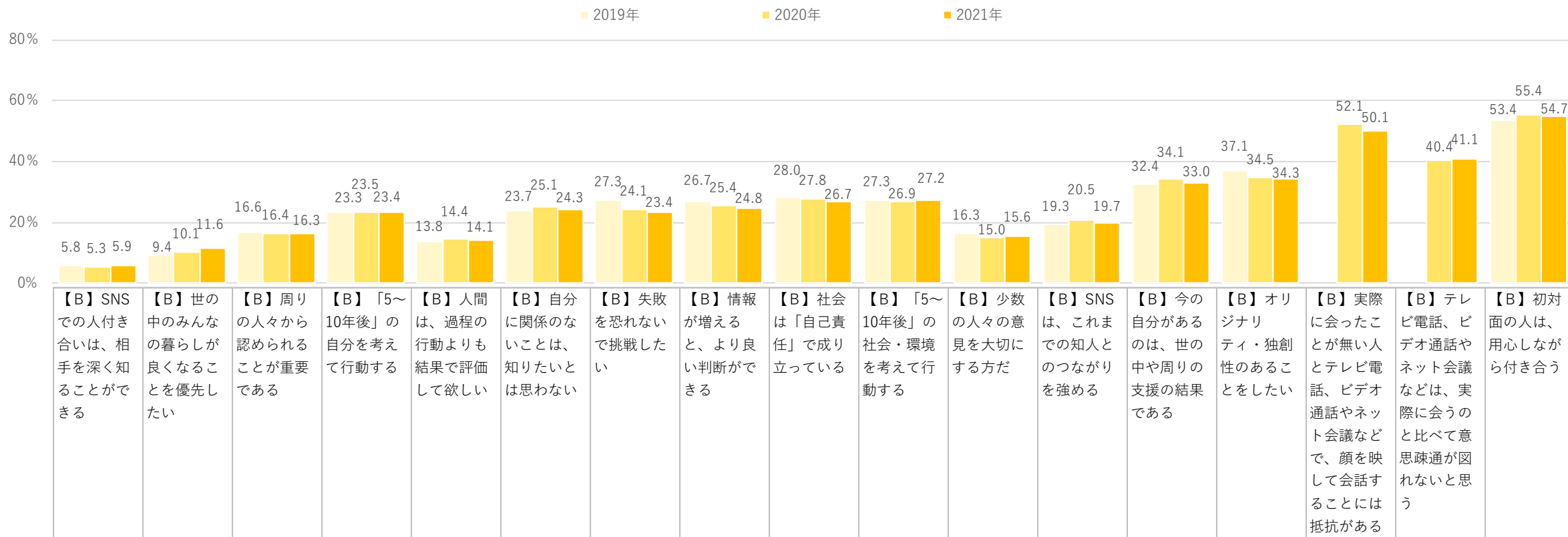
経年比較【Aに近い(計)】



※2021年のスコアで降順ソート

Q.以下の事柄について、あなたの考えやお気持ちに近いものをお知らせください。（単一回答）

経年比較【Bに近い(計)】

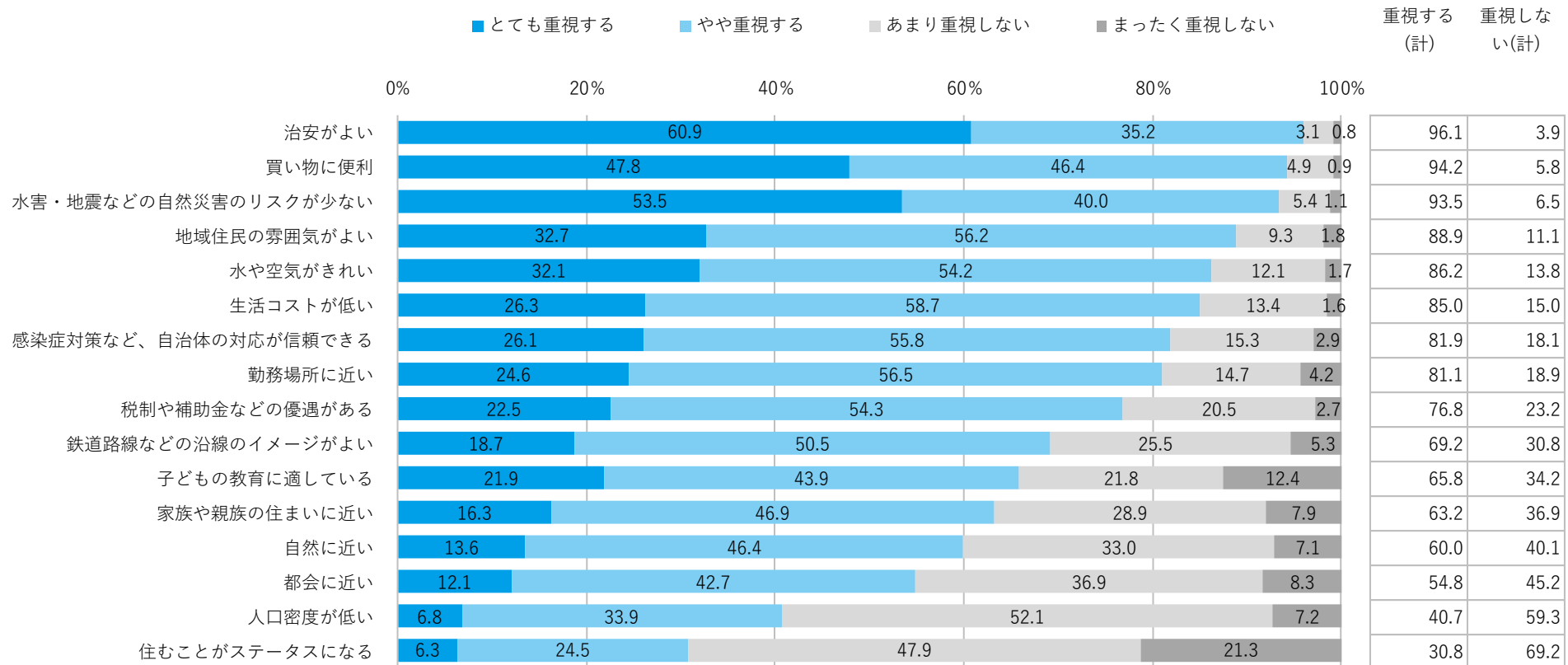


※2021年「Aに近い(計)」のスコアで降順ソート

■今後住みたいと思う場所の重視点

- ・「治安がよい」96.1%が最も高く、ついで「買い物に便利」94.2%、「水害・地震などの自然災害のリスクが少ない」93.5%、「地域住民のの雰囲気が良い」88.9%、「水や空気がきれい」86.2%と続く。「通勤利便性」よりも「安全性」や「買物利便性」、「環境」についての項目を重要視する傾向がみられた。
- ・6位以下に「生活コストが低い」「感染対策など、自治体の対応が信頼できる」「勤務場所に近い」「税金や補助金などの優遇がある」がランクイン。「お金/コスト」「仕事」「自治体の対応」にまつわる項目が次点となった。
- ・一方、「住むことがステータスになる」30.8%が最も低く、ついで、「人口密度が低い」40.7%、「都会に近い」54.8%が低い。

Q.現在の居住地や仕事の都合とは別に、自由な希望として、あなたが今後住みたいと思う場所について、以下の項目をどの程度重視しますか。それぞれについてあてはまるものをお知らせください。（単一回答）



※「重視する(計)」のスコアで降順ソート

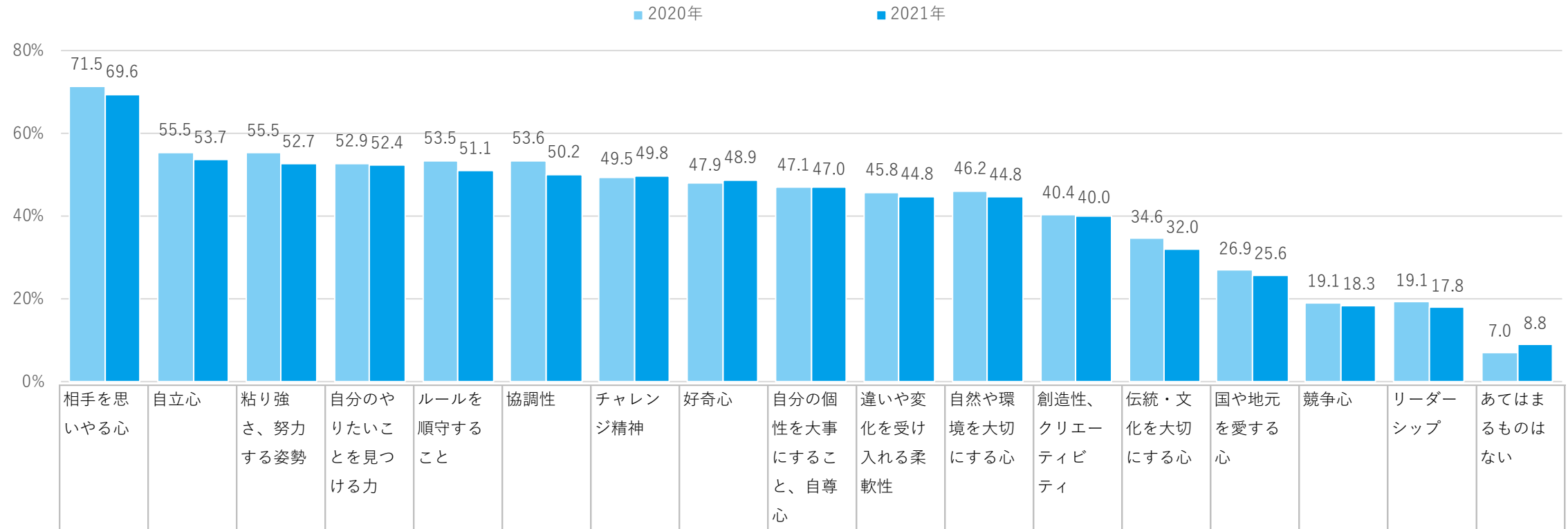
■子どもに身に付けてほしいもの

・子どもに身に付けてほしいものとして「相手を思いやる心」69.6%、「自立心」53.7%、「粘り強さ、努力する姿勢」52.7%、「自分のやりたいことを見つける力」52.4%、「ルールを順守すること」51.1%が上位に挙がった。

・数値が低かったものとしては、「リーダーシップ」17.8%、「競争心」18.3%、「国や地元を愛する心」25.6%、「伝統・文化を大切にする心」32.0%など。

・2020年-2021年でみると、ほぼ同じ傾向であるものの、全ての項目でわずかに減少。減少が大きい順に「協調性」(-3.4pts)、「粘り強さ、努力する姿勢」(-2.8pts)「ルールを遵守すること」(-2.4pts)。

Q.あなたは、子どもたちに、どのような心構え、姿勢を身に付けてほしいですか。以下の中から、すべてお知らせください。※これから生まれてくる子どもも含めて、長期的な視点でお知らせください。（複数回答）

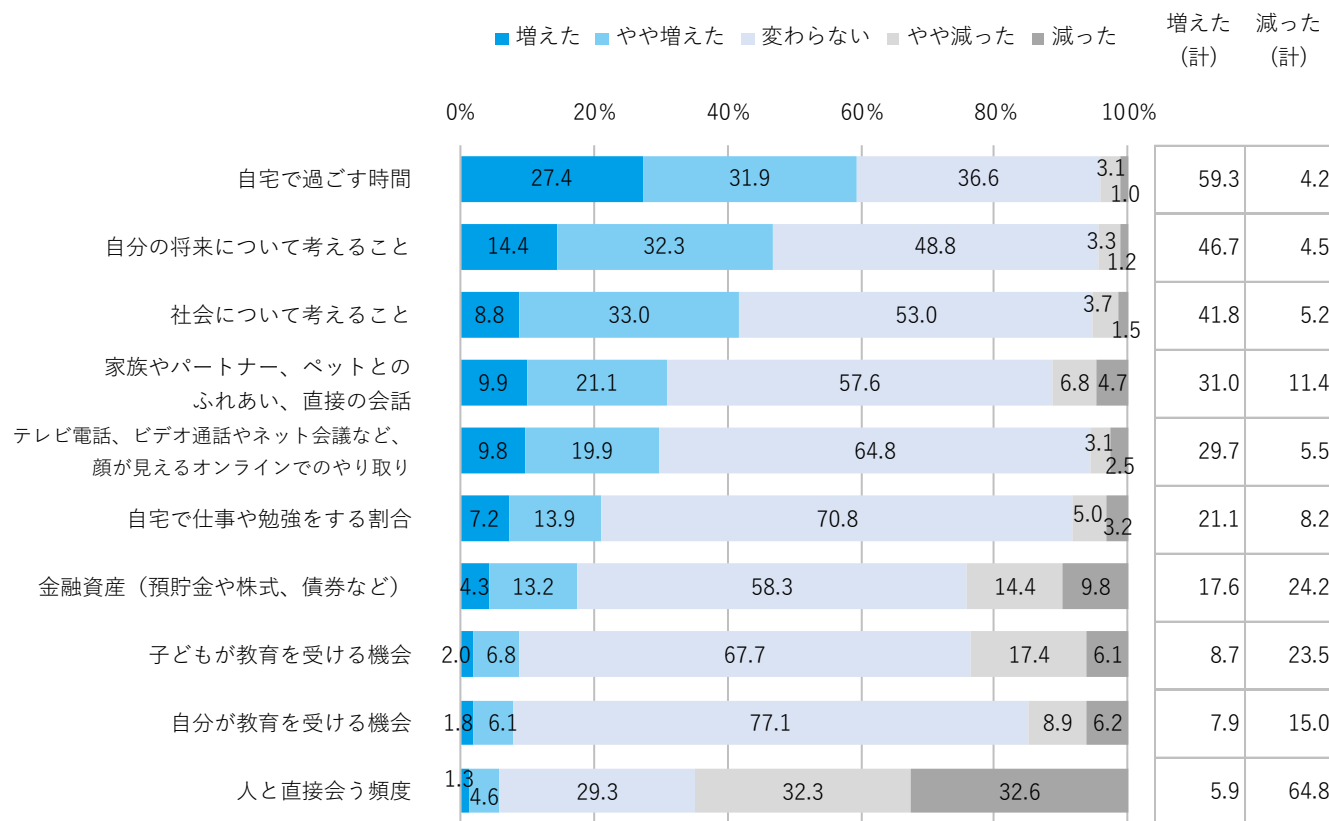


※2021年のスコアで降順ソート

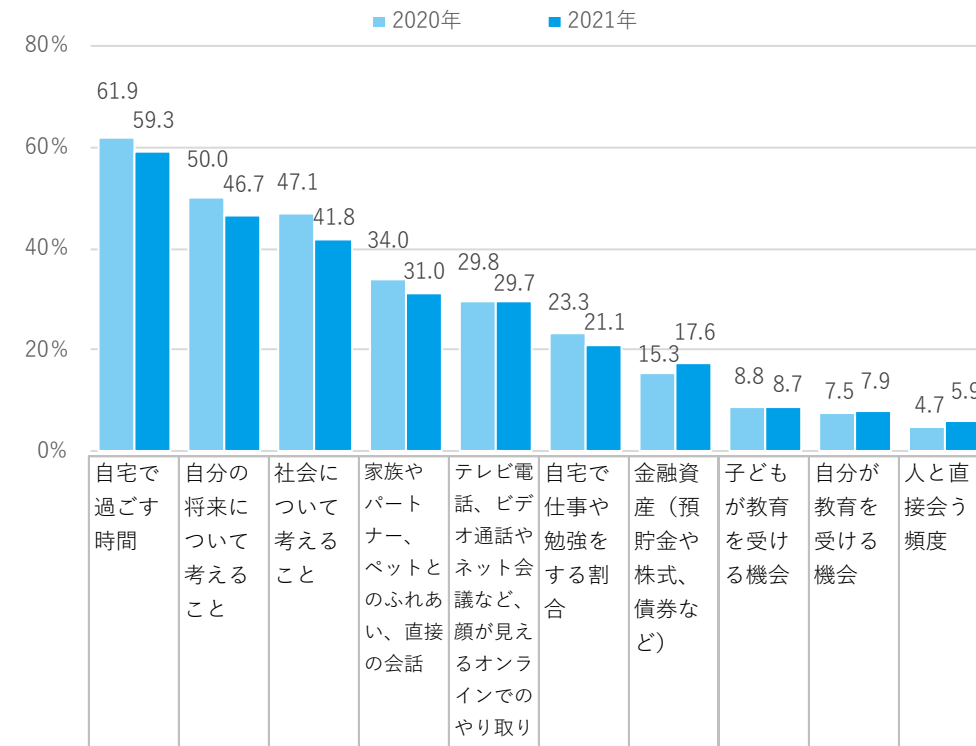
■一年前と比較して増えたもの 減ったもの

- ・増えたのは 「自宅で過ごす時間」59.3%、「自分の将来について考えること」46.7%、「社会について考えること」41.8%。（「増えた」+「やや増えた」計）。いずれも2020年よりも減少し、なかでも「社会について考えること」は5.3pts減少。
- ・減ったのは、「人と直接会う頻度」64.8%（「減った」+「やや減った」計）がトップ。

Q.以下の項目について、1年前と比較して増減をお知らせください。（単一回答）



経年比較【増えた(計)】



※2021年「増えた(計)」のスコアで降順ソート

①個人の能動性・自律性 人びとは、よりよい人生のために前向きで自律的であるか

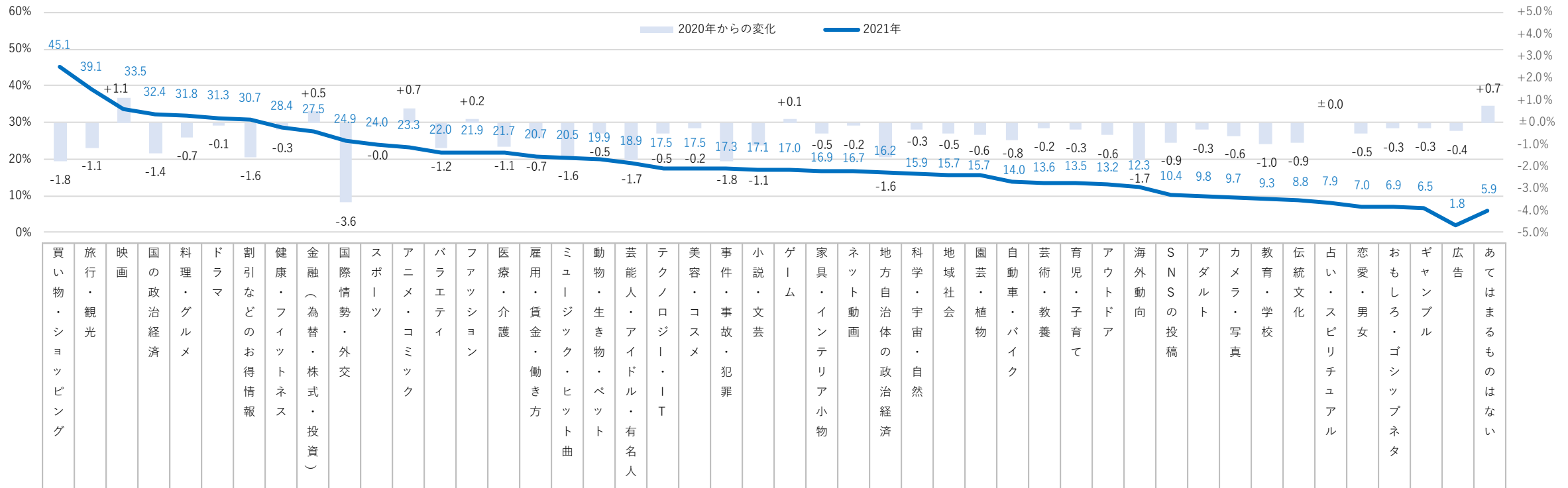
■興味のあるコンテンツ

・「買い物・ショッピング」45.1%、「旅行・観光」39.1%、「映画」33.5%「国の政治経済」32.4%、「料理・グルメ」31.8%、「ドラマ」31.3%「割引などのお得情報」30.7%などのコンテンツへの興味が高い。

※2020年-2021年の比較

総じて減少傾向で、「アニメ・コミック」「金融（為替・株式・投資）」「ファッション」「ゲーム」「占い・スピリチュアル」以外の全ての項目で微減。
減少幅が大きい順に「国際情勢・外交」（-3.6pts）、「買い物・ショッピング」（-1.8pts）、「事件・事故・犯罪」（-1.8pts）。

Q.あなたは現在、どのようなコンテンツに興味がありますか。次の中からあてはまるものを、すべてお知らせください。（複数回答）



※2021年のスコアで降順ソート

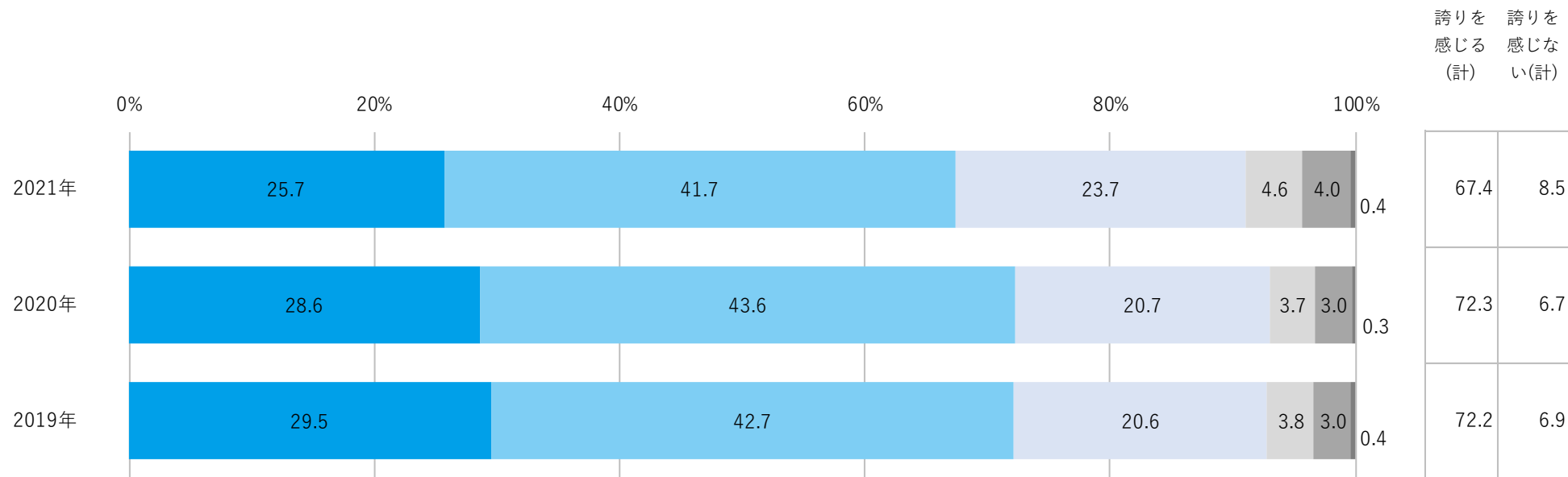
■日本人であることに誇りを感じるか

・ 誇りを感じる(計) 67.4%、 誇りを感じない(計) 8.5%となっている。

※2020年-2021年で「誇りを感じる(計)」は4.8ptsの減少。

Q.あなたは、日本人であることに誇りを感じますか。(単一回答)

■ 誇りを感じる ■ どちらかといえば誇りを感じる ■ どちらともいえない ■ どちらかといえば誇りを感じない ■ 誇りを感じない ■ 日本人ではない



誇りを感じる(計) 誇りを感じない(計)

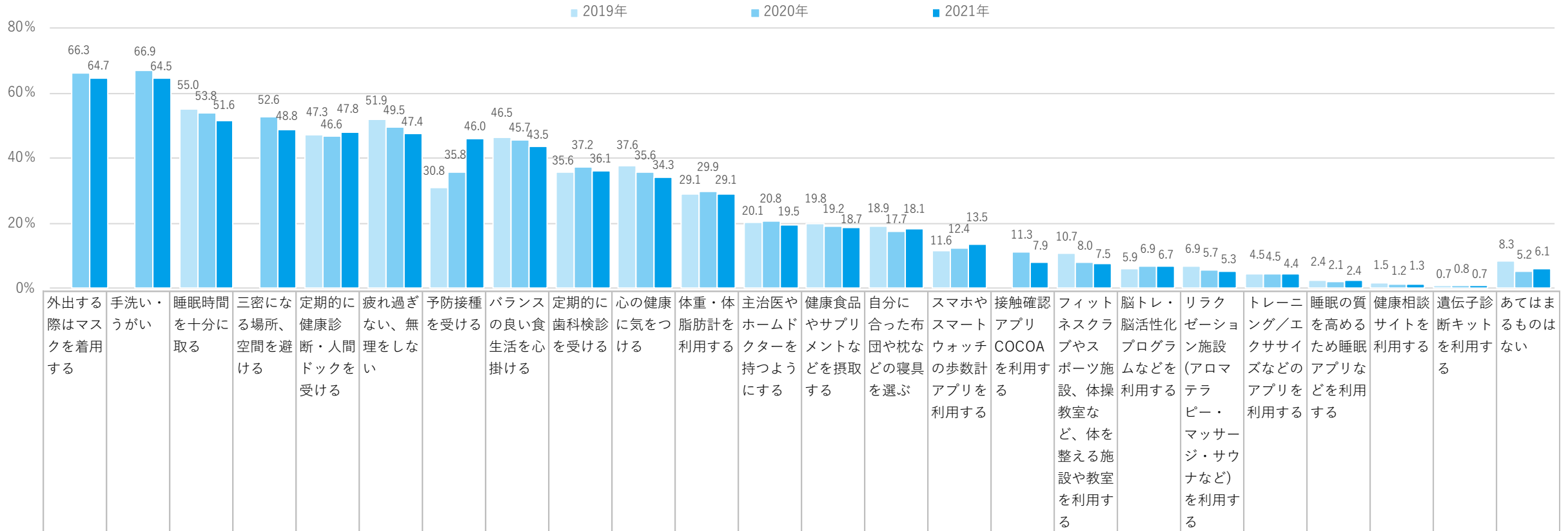
67.4	8.5
72.3	6.7
72.2	6.9

■健康を守るために行っていること

- ・「外出する際はマスクを着用する」64.7%、「手洗い・うがい」64.5%、「睡眠時間を十分に取る」51.6%、「三密になる場所、空間を避ける」48.8%、「定期的に健康診断・人間ドックを受ける」47.8%、「疲れ過ぎない、無理をしない」47.4%などが上位に挙がっている。
- ・2019年-2021年でみると、上位の項目で微減傾向であるものの、「予防接種を受ける」のみ、15.2ptsの増加（2020年-2021年は+10.2pts）。

※2020年調査では2019年調査の調査項目に新型コロナ対応の項目を多く加えたので、2019年データは参考値

Q.あなたは現在、ご自分の健康を守るために、どのようなことを行っていますか。あてはまるものを、すべてお知らせください。（複数回答）

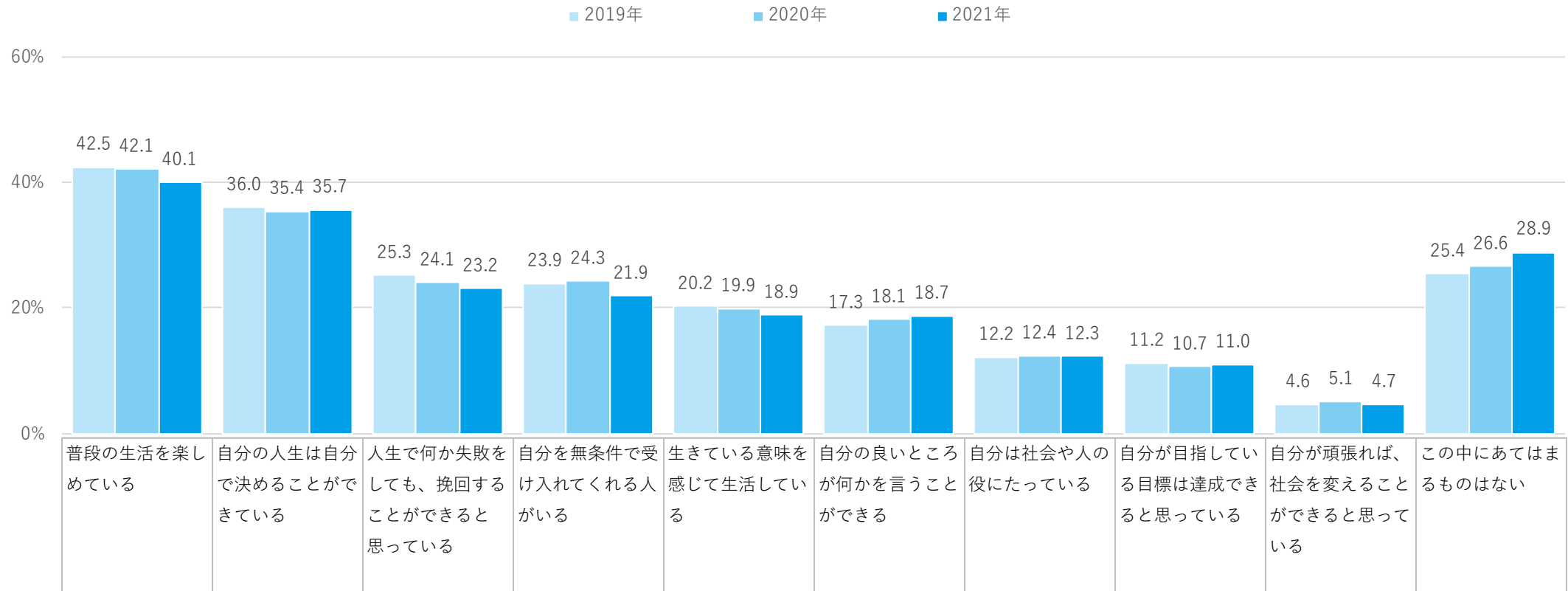


※2021年のスコアで降順ソート

■現在の自分の状況

・「普段の生活を楽しめている」40.1%、「自分の人生は自分で決めることができる」35.7%、「人生で何か失敗しても、挽回することができると思っている」23.2%、「自分を無条件で受け入れてくれる人がある」21.9%、「生きている意味を感じて生活している」18.9%のスコアが高い。

Q.あなたは、現在のご自身の状況についてどのようにお感じですか。次の中からあてはまるものを、すべてお知らせください。（複数回答）



※2021年のスコアで降順ソート

①個人の能動性・自律性 人びとは、よりよい人生のために前向きで自律的であるか

■調査結果を踏まえて

1. 身体も心も6割程度の人が「健康」、2割程度が「健康ではない」と回答。2020年-2021年では、男性70代で体の健康、女性30代で心の健康が低下。
2. 自分の所属する社会階層を「上」と認識する人は4%、「中」は66%、「下」は23%。2019年-2021年での変化は「中」がわずかに増加。
3. 仕事に求めるのは「雇用の安定」「興味がある・好きな仕事」「希望に合った収入」だが、現状ではあまり満たされていない。
感染症流行の中で、「働き方・ワークライフバランスに関する社内制度がある」への希望がわずかに増加。
4. 仕事に関わる能力開発で心掛けていることがある人は約5割。2020年-2021年の間での変化は見られない。
5. サステナビリティ意識や社会変革が浸透した裏返しのためか、「今の社会・環境を維持するように行動する」がわずかに減少。
6. 住みたい場所は、「通勤利便性」よりも、「治安」「買い物に便利」「自然災害のリスクが少ない」「地域住民の雰囲気」「きれいな水や空気」への重視度が高い。一方、「住むことがステータスになる」が最も低い。自宅での生活の質を意識した項目が高い結果となった。
7. 子どもに求めるのは「思いやり・自立心・粘り強さや努力する姿勢・協調性」。
8. この一年間で増えたのは「自宅で過ごす時間」「自分の将来について考えること」「社会について考えること」であるものの、いずれも2020年よりも減少し、なかでも「社会について考えること」は約5pts減少。
9. 「日本人であることに誇りを感じる」と答えたのは67%であるものの、2020年-2021年では約5ptsの減少。
10. 「予防接種を受ける」が、2020年-2021年の間に約10pts増加した。

■個人の現状と課題

- ・心身に関しては、概ね前年と同水準ではあるものの、コロナ疲れか男女30代が低下傾向。
- ・仕事、働くことに関しては、個を支え活かすためにも「働く場の改善」、「個人の能力開発を促す取り組み」が求められる。
- ・気候変動やコロナで働き方が変わるなか、住みたい場所は、通勤利便性よりも、安全で快適な自宅での生活の質を上げる要素が求められる。
- ・「社会について考えること」の時間が2020年よりも減り、「日本人であることの誇り」が低下していることは、コロナ禍で格差が進んだ結果とも捉えられる。

②社会集団の協調性・互助性

人びとは、よりよい人生のために、協力し合っているか

クオリティ
オブ
ソサエティ

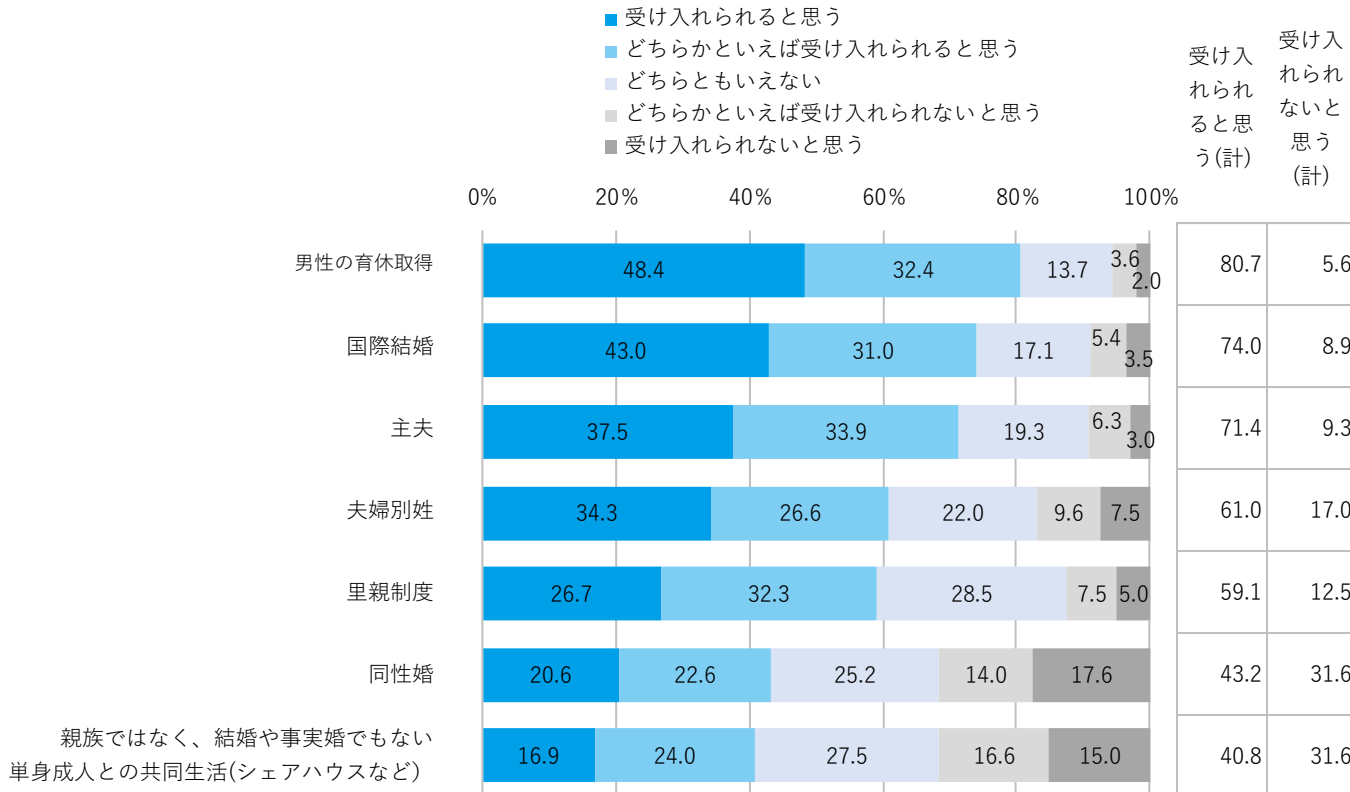
電通
総研

■新しい家族の形

・「男性の育休取得」を受け入れられると回答（受け入れられると思う」と「どちらかという受け入れられると思う」の合計）したのは80.7%と8割超え。「国際結婚」は74.0%、「主夫」71.4%、「夫婦別姓」61.0%、「里親制度」59.1%、「同性婚」43.2%、「親族ではなく、結婚や事実婚でもない単身成人との共同生活(シェアハウスなど)」は40.8%。

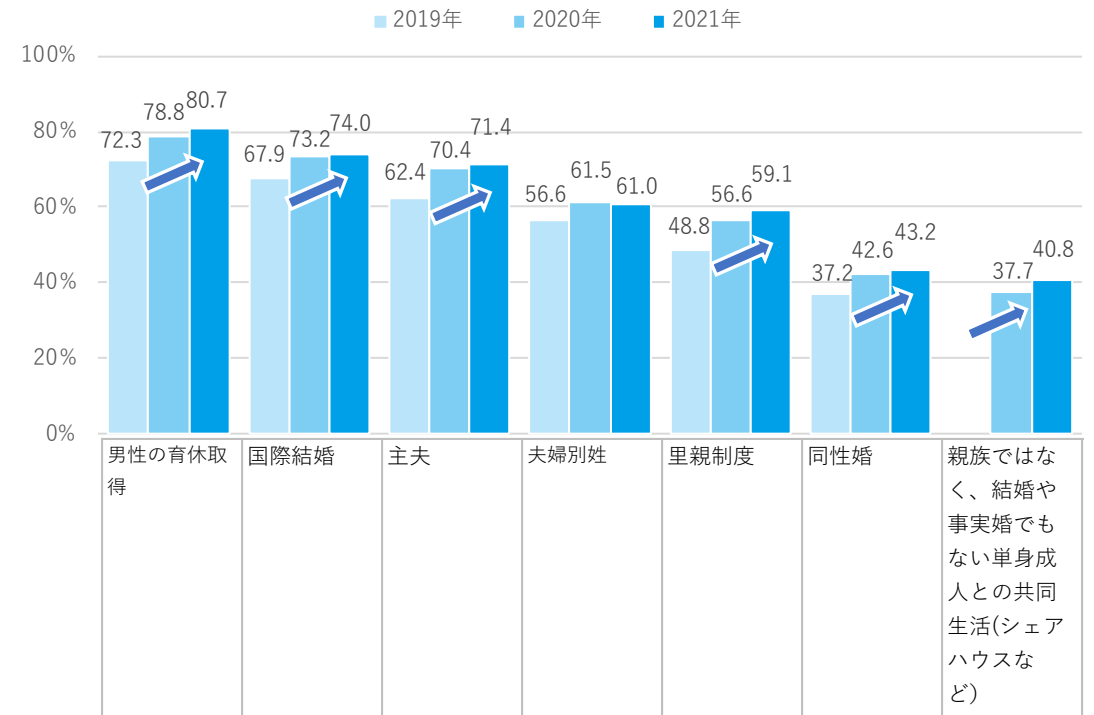
※2020年-2021年の比較が可能なすべての項目（「夫婦別姓」を除く）で「受け入れられる」の回答が増加した。

Q.次にあげる「家族の形」について、あなたはどのように思いますか。ご自身やご自身の身の回りの場合を仮定して、あなたのお考えに近いものをお知らせください。（単一回答）



※2021年「受け入れられると思う（計）」のスコアで降順ソート

経年比較【受け入れられると思う(計)】

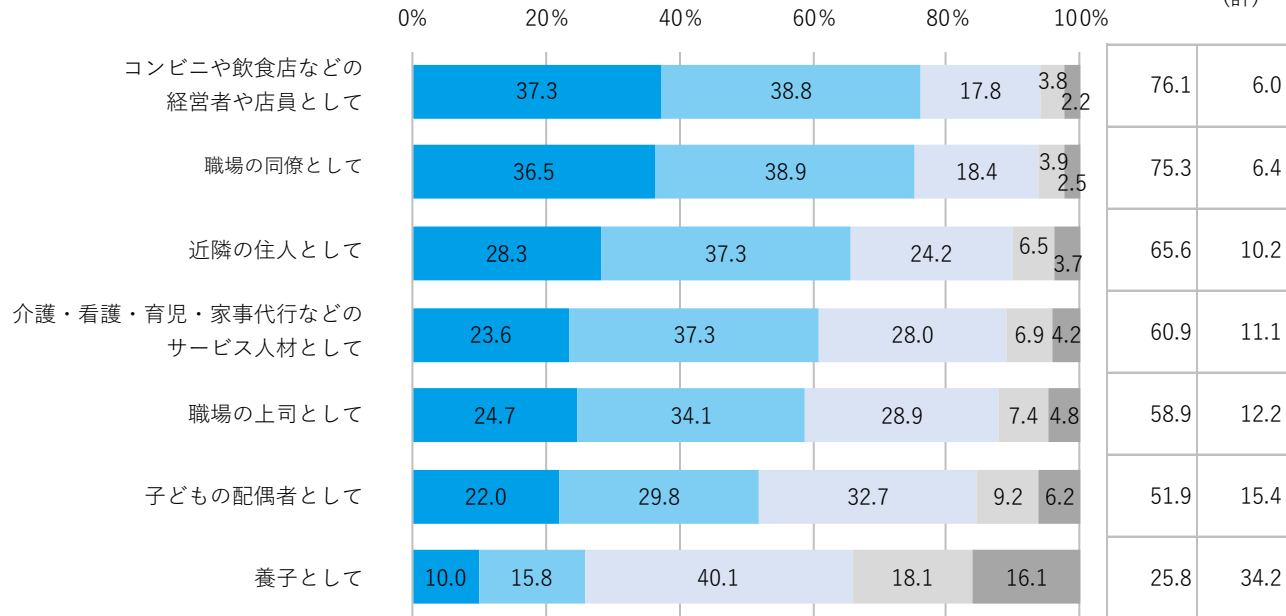
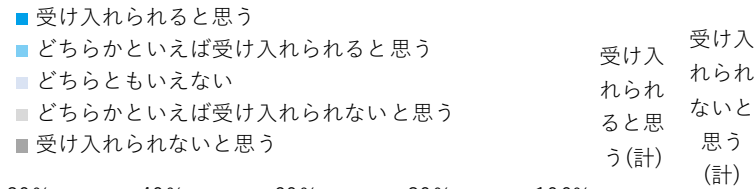


■日本社会における外国人の立場や場面別の受容度

・日本社会における外国人について「コンビニや飲食店などの経営者や店員として」を受け入れられると回答（受け入れられると思う」と「どちらかという受け入れられると思う」の合計）したのは76.1%、「職場の同僚として」75.3%、「近隣の住人として」65.6% などとなっている。

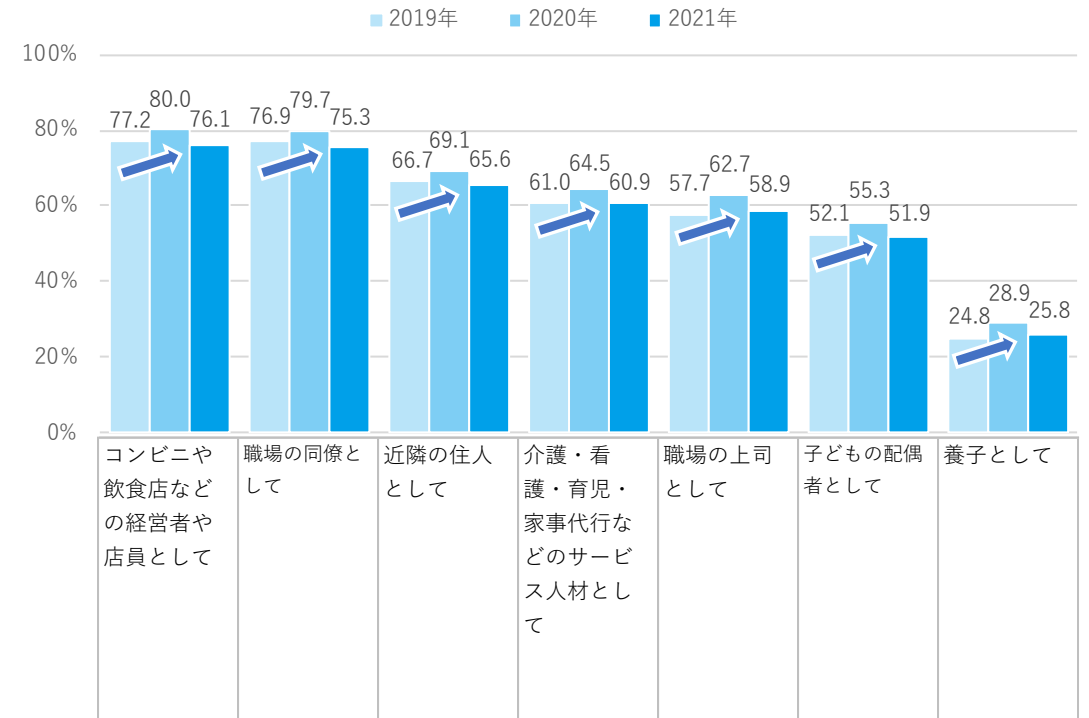
※2020年-2021年の比較では統計的に有意な差をもって、すべての項目で「受け入れられる」のスコアが減少した。

Q.以下にあげる立場や場面において、あなたは外国人をどの程度受け入れられると思いますか。それぞれについて、あてはまるものをお知らせください。（単一回答）



※2021年「受け入れられると思う（計）」のスコアで降順ソート

経年比較【受け入れられると思う(計)】



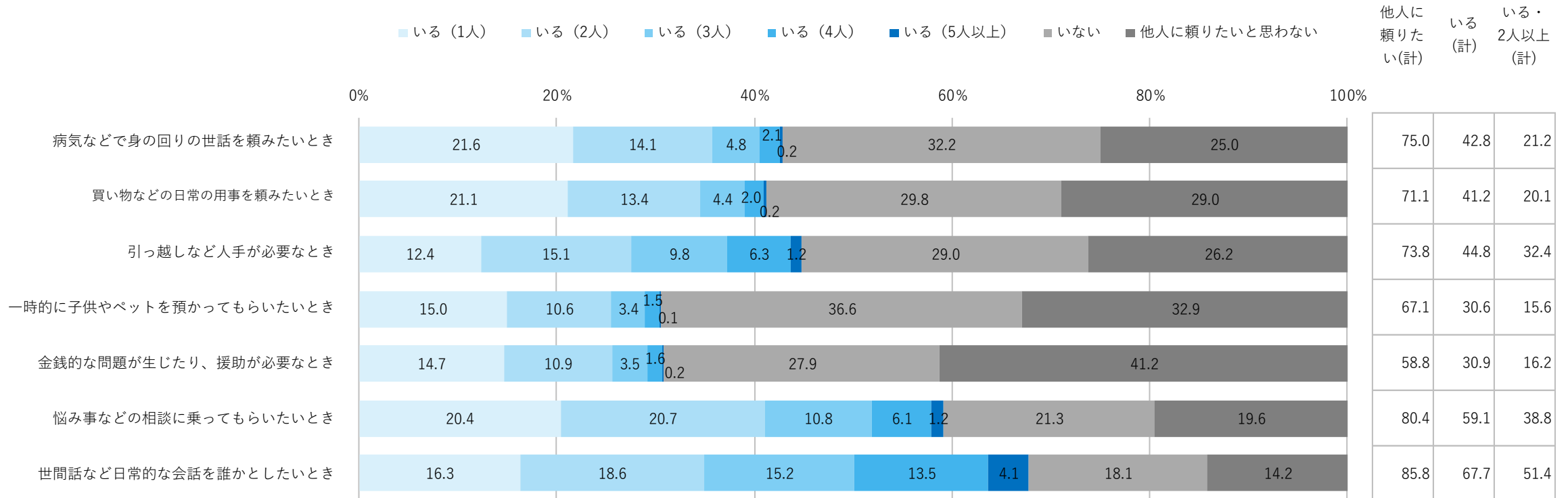
② 社会集団の協調性・互助性 人びとは、よりよい人生のために、協力し合っているか

■ 家族以外の相談相手

・他人に頼りたいと思うシチュエーションとして、「世間話など日常的な会話を誰かとしたいとき」85.8%、「悩み事などの相談に乗ってもらいたいとき」80.4%、「病気などで身の回りの世話を頼みたいとき」75.0%が上位に。

・家族以外に相談相手がいるシチュエーションとして、「世間話など日常的な会話を誰かとしたいとき」67.7%、「悩み事などの相談に乗ってもらいたいとき」59.1%、「引っ越しなど人手が必要なとき」44.8%が上位に。

Q.あなたが以下のような状況の場合、家族以外の相談相手として思いつく人はいますか。いる場合、思いつくのは何人程度いますか。（単一回答）

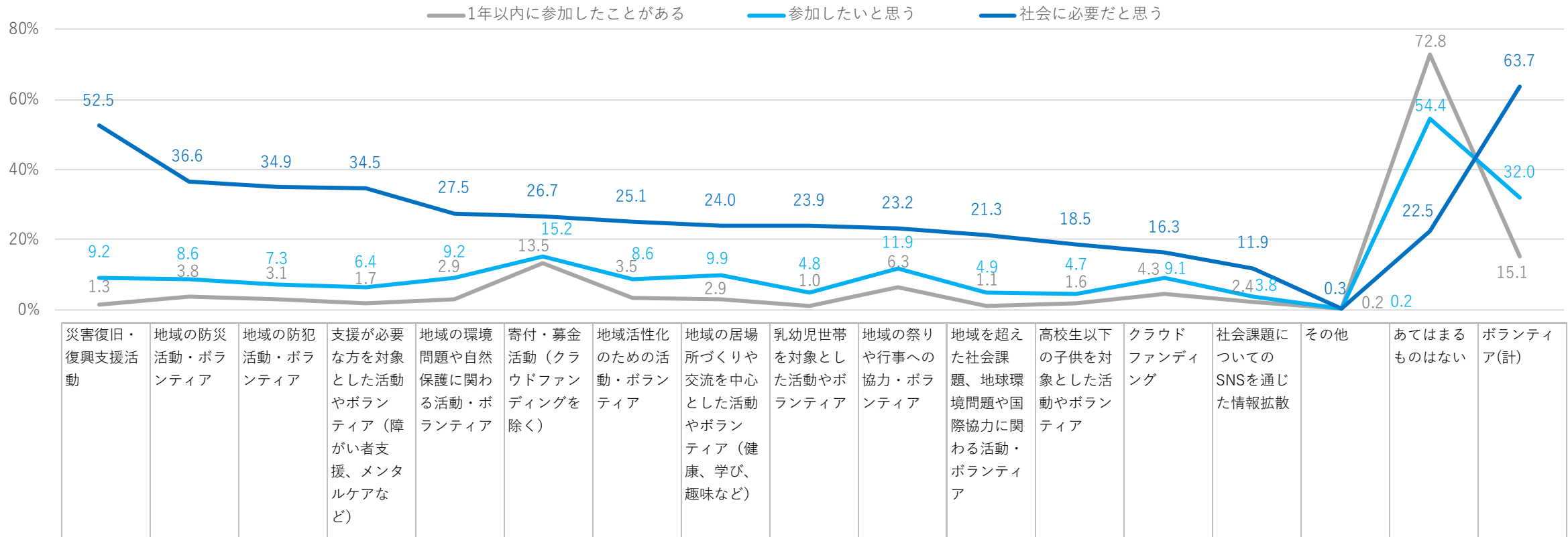


②社会集団の協調性・互助性 人びとは、よりよい人生のために、協力し合っているか

■ボランティア活動など市民の社会貢献活動の社会での必要度、参加意向、1年以内参加率

- ・災害復旧・復興支援活動や各種ボランティア等の市民の社会貢献活動につき以下15個の項目で質問したところ、15のいずれかの活動について「社会に必要なと思う」は63.7%、「参加したいと思う」は32.0%、「1年以内に参加したことがある」は15.1%と回答。
- ・市民の社会貢献活動が必要と認識する人は多いが、参加意向はそのおよそ半分、1年以内参加率になると更に半分になるという状況。

Q.以下のそれぞれについて、あてはまるものをすべてお知らせください。（複数回答）



※「社会に必要なと思う」のスコアで降順ソート

②社会集団の協調性・互助性 人びとは、よりよい人生のために、協力し合っているか

■ボランティア活動など市民の社会貢献活動の社会での必要度、参加意向、1年以内参加率

・2020年から2021年にかけて、ボランティア活動について「社会に必要と思う」は3.3ptsの低下、「参加意向」は2.7ptsの低下、「1年以内参加率」は3.5ptsの低下と、軒並みスコアが減少した。

Q.以下のそれぞれについて、あてはまるものをすべてお知らせください。（複数回答）

	災害復旧・復興支援活動	地域の防災活動・ボランティア	地域の防犯活動・ボランティア	支援が必要な方を対象とした活動やボランティア（障がい者支援、メンタルケアなど）	地域の環境問題や自然保護に関する活動・ボランティア	寄付・募金活動（クラウドファンディングを除く）	地域活性化のための活動・ボランティア	地域の居場所づくりや交流を中心とした活動やボランティア（健康、学び、趣味など）	乳幼児世帯を対象とした活動やボランティア	地域の祭りや行事への協力・ボランティア	地域を超えた社会課題、地球環境問題や国際協力に関する活動・ボランティア	高校生以下の子供を対象とした活動やボランティア	クラウドファンディング	社会課題についてのSNSを通じた情報拡散	その他	あてはまるものはない	ボランティア(計)
1年以内に参加したことがある：2021年	1.3	3.8	3.1	1.7	2.9	13.5	3.5	2.9	1.0	6.3	1.1	1.6	4.3	2.4	0.2	72.8	15.1
1年以内に参加したことがある：2020年	2.2	4.6	3.7	1.9	3.1	15.1	4.3	3.3	1.2	9.5	1.3	2.0	4.7	2.5	0.2	68.5	18.5
2021年－2020年の差	-0.9	-0.8	-0.6	-0.3	-0.1	-1.7	-0.8	-0.4	-0.2	-3.2	-0.2	-0.3	-0.4	-0.2	+0.0	+4.2	-3.5
参加したいと思う：2021年	9.2	8.6	7.3	6.4	9.2	15.2	8.6	9.9	4.8	11.9	4.9	4.7	9.1	3.8	0.2	54.4	32.0
参加したいと思う：2020年	11.0	9.2	7.5	6.9	9.3	16.2	9.4	10.6	5.3	13.1	4.9	5.2	10.0	4.0	0.2	50.8	34.7
2021年－2020年の差	-1.8	-0.6	-0.1	-0.5	-0.1	-0.9	-0.7	-0.7	-0.5	-1.2	+0.0	-0.5	-0.9	-0.2	+0.1	+3.6	-2.7
社会に必要だと思う：2021年	52.5	36.6	34.9	34.5	27.5	26.7	25.1	24.0	23.9	23.2	21.3	18.5	16.3	11.9	0.3	22.5	63.7
社会に必要だと思う：2020年	55.6	39.1	36.5	35.6	27.4	28.8	25.4	24.5	24.2	23.6	20.9	18.1	16.4	11.1	0.2	19.0	67.0
2021年－2020年の差	-3.2	-2.6	-1.6	-1.0	+0.1	-2.1	-0.3	-0.5	-0.3	-0.5	+0.4	+0.5	-0.2	+0.8	+0.1	+3.4	-3.3

(%)

※2021年「社会に必要だと思う」のスコアで降順ソート ※2021-2020年の差：1.0以上は色付け/2.0以上は太字

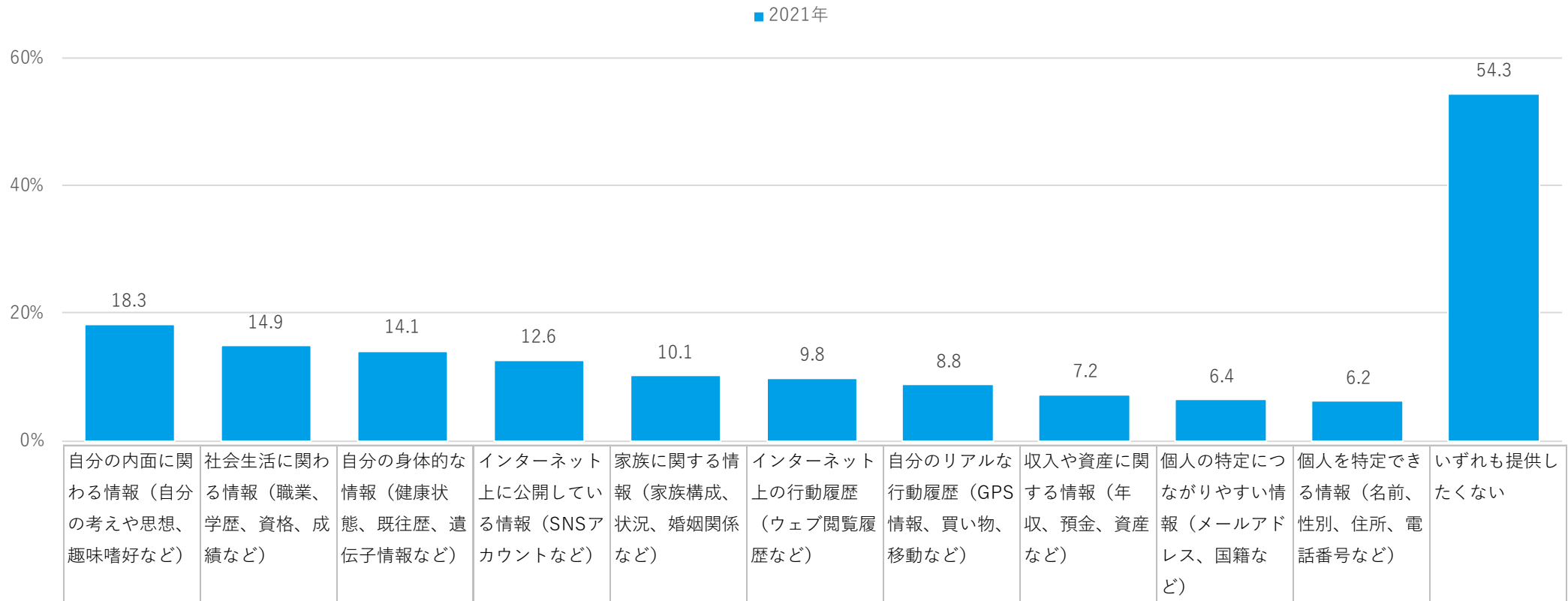
② 社会集団の協調性・互助性 人びとは、よりよい人生のために、協力し合っているか

■ 社会発展のための個人データ提供許容度

・ 社会の発展のために提供できる個人データの種類としては、「自分の内面に关わる情報（自分の考えや思想、趣味嗜好など）」は18.3%、「社会生活に关わる情報（職業、学歴、資格、成績など）」は14.9%、といった結果が出た。

・ ただ、「いずれも提供したくない」は54.3%であり、社会発展のためであっても半数を超える人が個人データを提供したくないという状況。

Q.あなたの暮らしをより便利にするために、個人データを提供するとしたら、どのような種類のデータを提供してもよいと思いますか。次の中からあてはまるものを、すべてお知らせください。（複数回答）



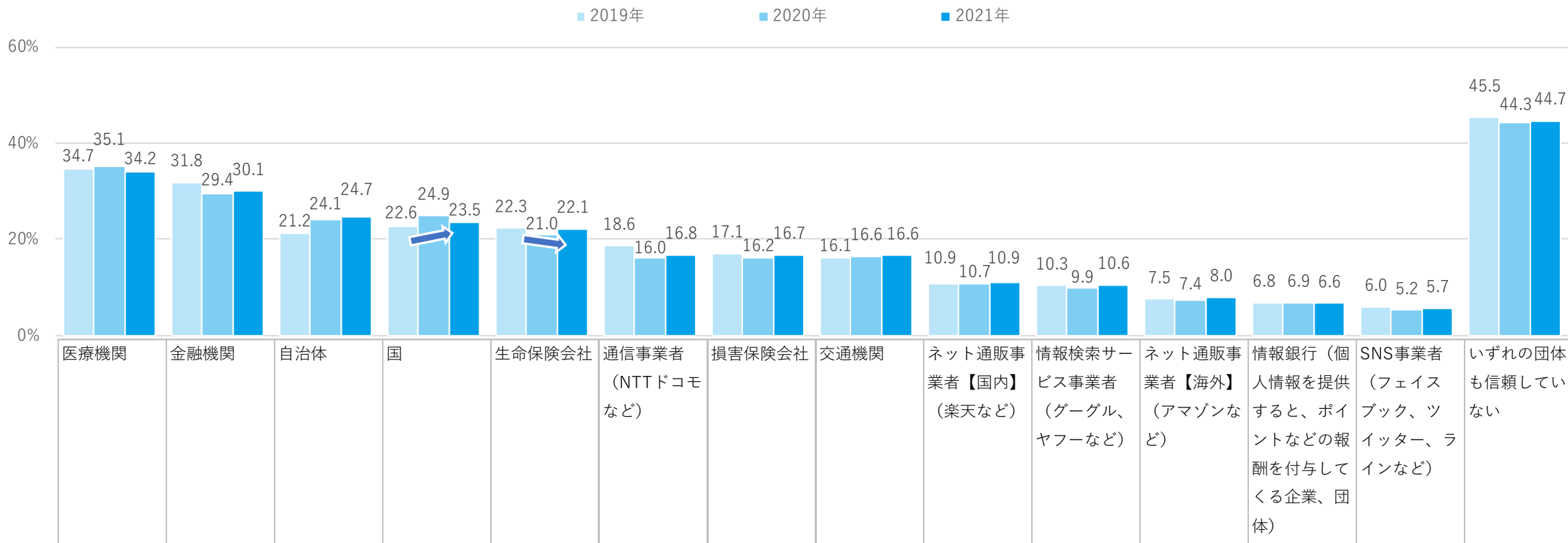
※2021年のスコアで降順ソート

■個人データを保有する企業/団体に対する信頼度

・個人データを保有する企業/団体に対する信頼度については、「医療機関」34.2%、「金融機関」30.1%、「自治体」24.7%、「国」23.5%、「生命保険会社」22.1%の順で高い。

・2020年と比べて比較的スコアの変動があった項目は、「国」(-1.4pts)と「生命保険会社」(+1.1pts)程度で、多くは有意差のある変化が見られなかった。

Q.あなたは、以下の個人データを保有する企業/団体を信頼していますか。信頼しているものをすべてお知らせください。（複数回答）



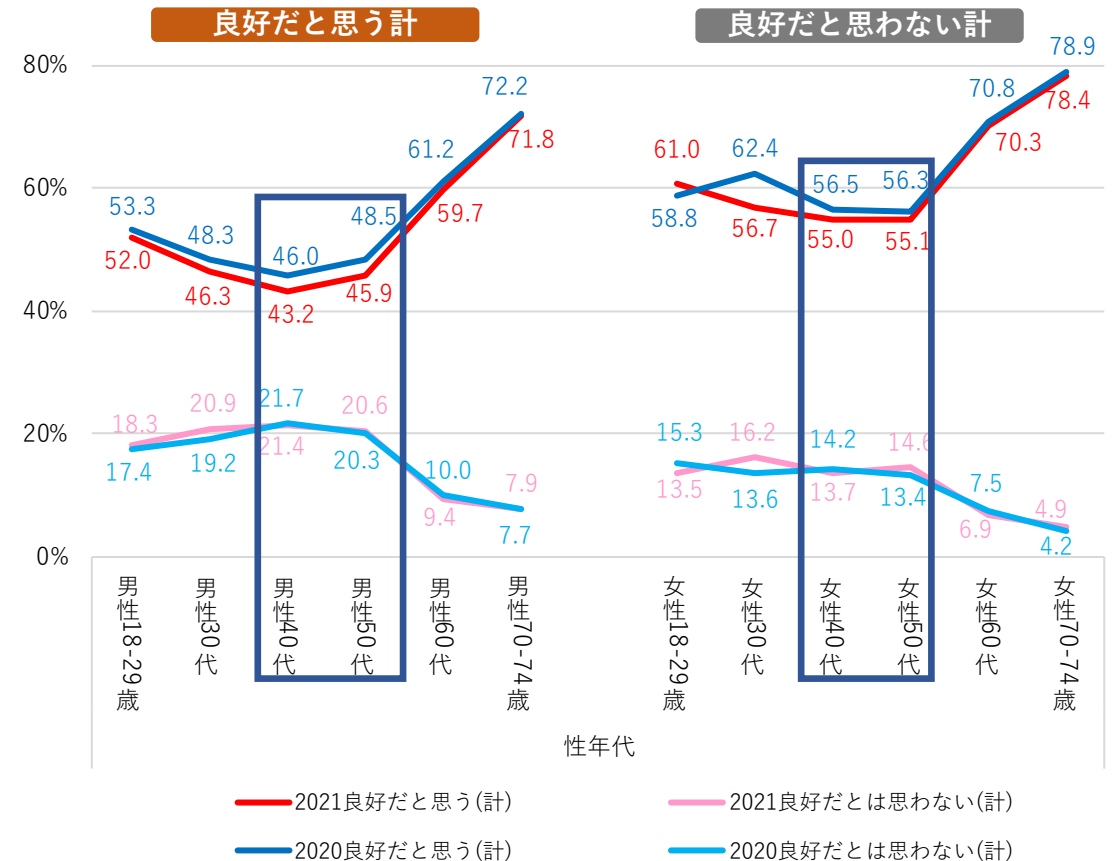
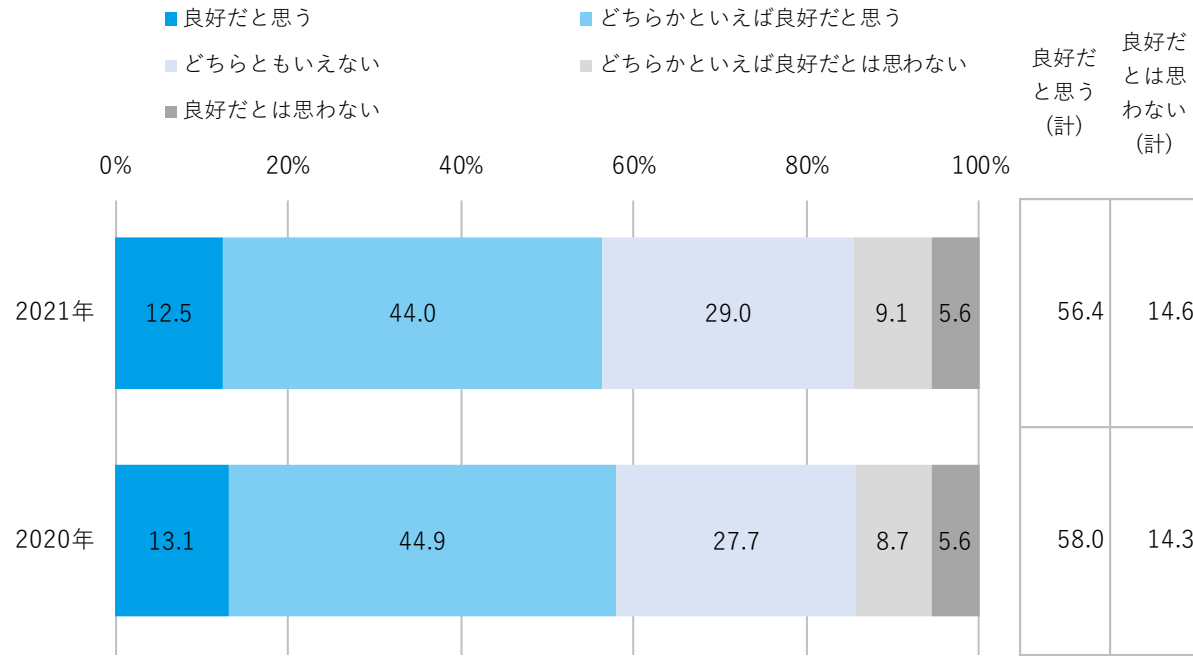
※2021年のスコアで降順ソート

② 社会集団の協調性・互助性 人びとは、よりよい人生のために、協力し合っているか

■ 社会関係と人間関係についての良好度

- ・自分の社会関係と人間関係について、良好だと思ふ計（「良好だと思ふ」と「どちらかといえば良好だと思ふ」の合計）は56.4%、良好だと思わない計（「良好だと思わない」と「どちらかといえば良好だとは思わない」の合計）は14.6%であり、半数以上の人々が人間関係・社会関係は良好であると回答。
- ・年代別にみると「良好だと思ふ計」は男女とも40代と50代で低く、2020年との比較で見ても「良好だと思ふ計」は40代と50代でスコアが比較的顕著に低下している状況。

Q.ご自分の人間関係・社会関係は良好だと思いますか。あてはまるものをお知らせください。（単一回答）

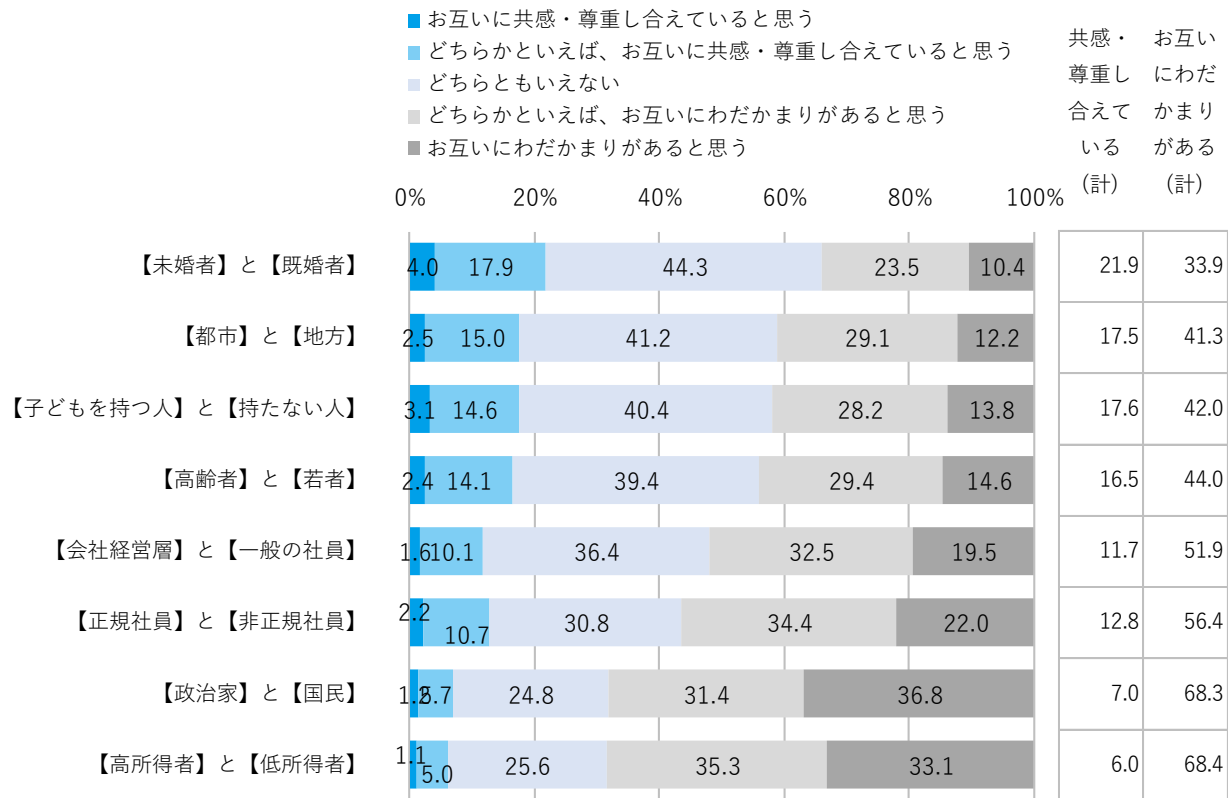


②社会集団の協調性・互助性 人びとは、よりよい人生のために、協力し合っているか

■共感し合っているグループや属性

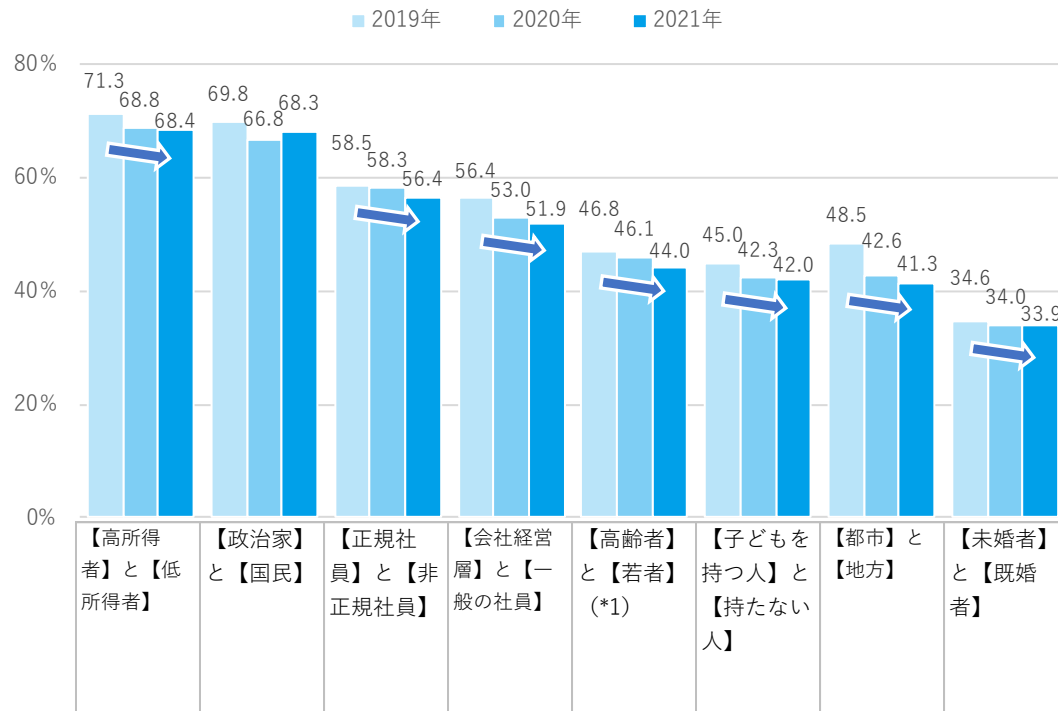
- ・現在の日本社会において、以下にあげる【グループ】や【属性】はお互いに共感・尊重し合えていると思うか質問したところ、いずれのグループ間においても共感・尊重よりわだかまりが多いと回答している人が多い。
- ・最もわだかまりがあると回答されたのが「高所得者と低所得者」68.4%で、ついで「政治家と国民」68.3%、「正規社員と非正規社員」56.4%が続く。
- ・2020年との比較では、多くの項目で「わだかまりがある」の数値が減少。

Q.現在の日本社会において、以下にあげる【グループ】や【属性】は、お互いに共感・尊重し合えていると思いますか。(単一回答)



※2021年「共感・尊重し合えている(計)」のスコアで降順ソート

経年比較【お互いにわだかまりがある(計)】



※2021年「お互いにわだかまりがある(計)」のスコアで降順ソート

*1: 2020年・2019年は「【老人】と【若者】」として聴取

II 社会集団の協調性・互助性 人びとは、よりよい人生のために、協力し合っているか

■調査結果を踏まえて

1. 家庭における男性の育児参加と家事参画の役割を受け入れる人が増加。社会全体がジェンダーの役割を超えた家族観へシフトチェンジ中。
2. 外国人の受け入れに歓迎と懸念が同居、2020年よりも外国人を受け入れることについてハードルが高まった結果に。
3. 家族以外の人に頼ったり相談したいシチュエーションとして、世間話や悩み相談では心理的ハードルが低い一方、病気の時や引っ越しの時など相手に負担を強いるシチュエーションでは心理的ハードルが依然として高い模様。
4. およそ3人中2人がボランティア活動が「社会に必要だと思う」と回答したものの、1年以内参加率は15%ほど。社会的な助け合い・ボランティアが社会に必要だと思う気持ちはあるが、実際の行動には依然結びついていない状況。
5. 人間関係・社会関係が良好と回答したのは半数を超えているが、40-50代で良好であると回答したスコアが2020年と比較して低下。
6. 7割弱が「高所得と低所得」「政治家と国民」の間に「わだかまりがある」と回答。

■社会集団の協調性・互助性の課題

- ・ジェンダーレスに基づく新しい家族観が社会に浸透中。価値観の変化が『摩擦やストレス』に繋がることのないよう、社会システムの見直しが望まれる。
- ・ダイバーシティとインクルージョンは社会課題であると叫ばれている中、外国人を身近なコミュニティに受容する意識形成はやや減退。
- ・「助けたい気持ちはあるのに行動に結びつかない」。ボトルネックを乗り越えるべく、そっと背中を押す仕組みの社会実装が望まれる。
- ・高所得者とそうでない層や、国民と国民によって選ばれた政治家といった、自分にはそれほど身近には感じられない集団同士の関係性においては依然わだかまりを感じている。こうした格差や分断を乗り越えるメディアや情報発信のあり方、社会の構成員同士が互いに尊重しあえる関係性を築くためのシステムや価値観の醸成が必要。

③社会制度の信頼性・耐久性
よりよい人生のために、社会システムは機能しているか

クオリティ
オブ
ソサエティ

電通
総研

③社会制度の信頼性・耐久性 よりよい人生のために、社会システムは機能しているか

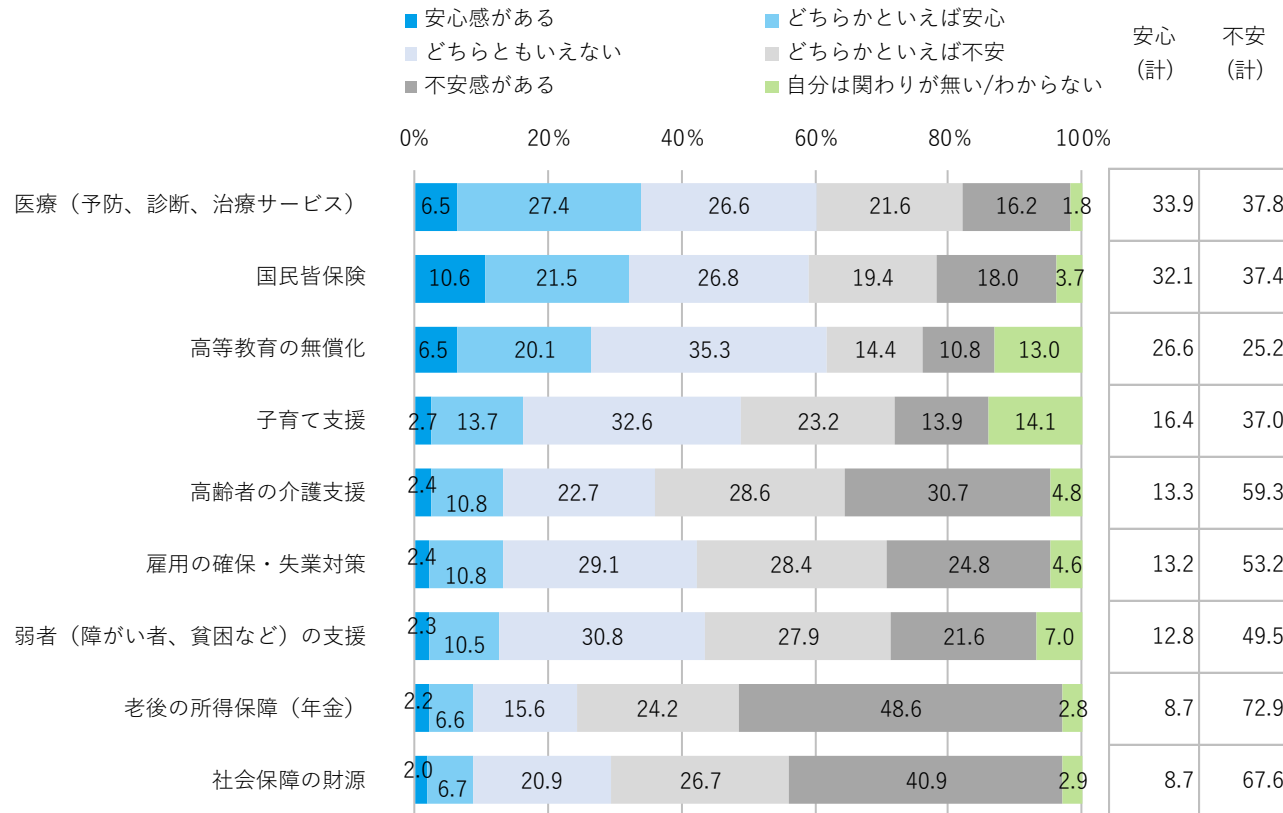
■日本の社会保障の安心感

・日本の社会保障については「医療（予防、診断、治療サービス）」33.9%、「国民皆保険」32.1%、「高等教育の無償化」26.6%が「安心感がある」と回答。（「安心感がある」「どちらかといえば安心感がある」計 で高い順に提示。）

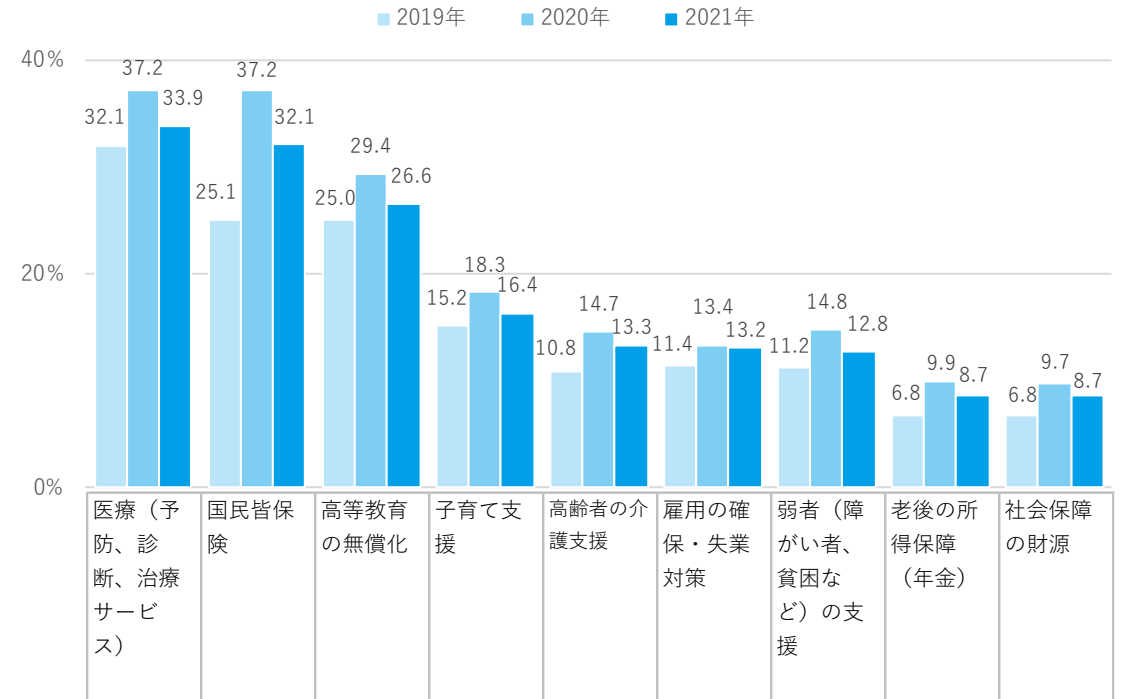
※2019年-2021年の経年比較

・「医療（予防、診断、治療サービス）」、「国民皆保険」、「高等教育の無償化」など、2020年ほどではないが2019年からは増加傾向

Q.あなたは、日本の社会保障などについて、どの程度、安心感があると思いますか。それぞれについて、あてはまるものをお知らせください。（単一回答）



経年比較【安心(計)】

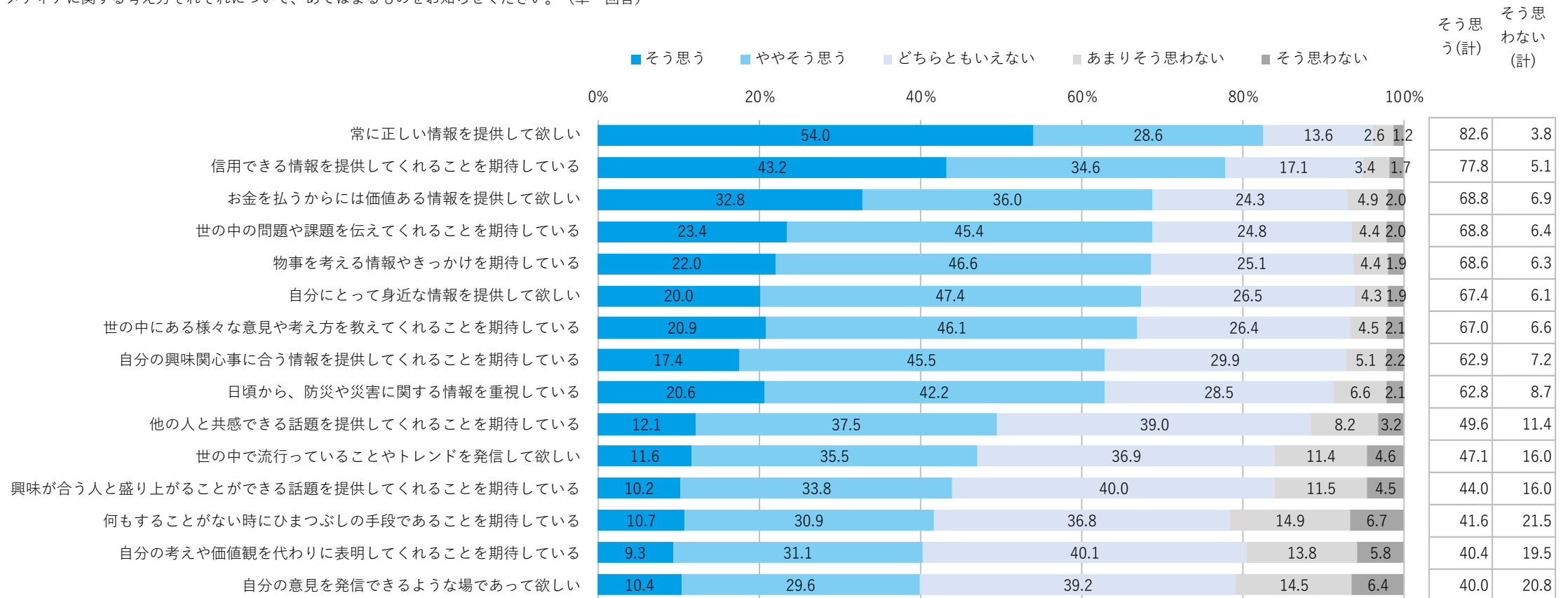


※2021年「安心（計）」のスコアで降順ソート

■情報源やメディアに期待していること

- ・「情報源やメディア」に「正しい情報」「信頼できる情報」「お金を払う価値のある情報」等を筆頭に以下のようなことを期待している。「常に正しい情報を提供して欲しい」82.6%、「信用できる情報を提供してくれることを期待している」77.8%、「お金を払うからには価値ある情報を提供して欲しい」68.8%、「世の中の問題や課題を伝えてくれることを期待している」68.8%、「物事を考える情報やきっかけを期待している」68.6%（「期待」「やや期待」計）

Q.情報源やメディアに関する考え方それぞれについて、あてはまるものをお知らせください。（単一回答）



※「そう思う（計）」のスコアで降順ソート

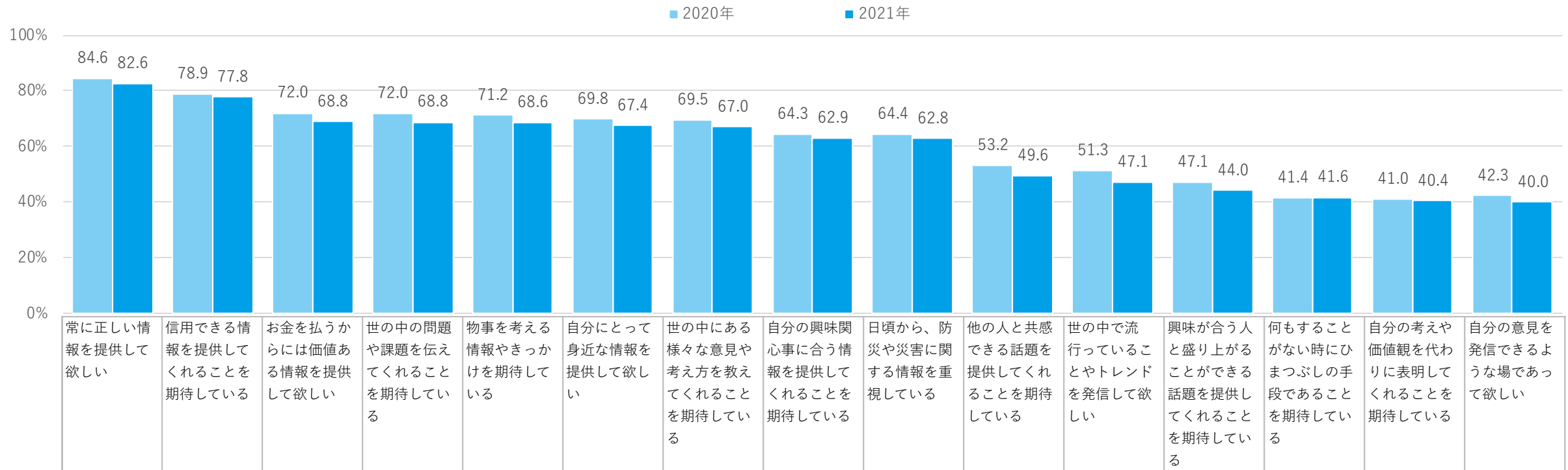
■情報源やメディアに期待していること

※2020年-2021年の経年比較

- ・情報源やメディアに期待することとして、順位の変動はほぼ見られなかった。
- ・全体的に「そう思う」と答えた割合は微減傾向だった。

Q.情報源やメディアに関する考え方それぞれについて、あてはまるものをお知らせください。(単一回答)

経年比較【そう思う(計)】



※2021年「そう思う(計)」のスコアで降順ソート

■さまざまな情報源やメディアが果たしている機能

- ・さまざまな情報源やメディアが「どのような必要に応じているか」で回答数が多かった順にあげると、「ひまつぶし的手段」、「興味関心事の情報を得ることができる」、「身近な情報を得ることができる」、「防災情報・災害時情報を得ることができる」、「世の中の問題や課題を知ることができる」、「世の中の流行・トレンドなどの知識を与えてくれる」があがった。

※情報に関する必要に対しては、「民放の地上波テレビ放送」、「ニュースサイトやアプリ」、「NHKの地上波テレビ放送」、「本・書籍・雑誌」、「SNS」、「全国紙」等を筆頭に、以下のようにさまざまな必要に応じている。(以下15項目で質問への回答数の多かったメディア順)

Q.以下の情報源やメディアはあなたにとってどのような存在でしょうか。それぞれについて、あてはまるものをすべてお知らせください。(複数回答)

	ひまつぶし的手段	興味関心事の情報を得ることができる	身近な情報を得ることができる	防災情報・災害時情報を得ることができる	世の中の問題や課題を知ることができる	世の中の流行・トレンドなどの知識を与えてくれる	物事を考えるきっかけや助けになる	興味関心事や趣味に没頭させてくれる	知りたいことや気になったことをすぐに知ることができる	正確な情報を与えてくれる	異なる視点や意見を知ることができる	信用している	お金を払う価値がある	他人との話題を提供してくれる	興味の合う相手と共感し、盛り上がるができる	自分の意見などを示すことができる	価値観や気持ちを代弁してくれる	あてはまるものはない	回答個数平均
民放の地上波テレビ放送(録画再生を含む)	40.0	21.5	21.9	20.5	22.7	28.3	17.4	12.2	10.7	9.3	11.8	7.8	2.5	12.7	9.4	2.0	3.8	15.9	2.54
ニュースサイトやアプリ(Yahoo!ニュース、LINE NEWS、SmartNewsなど)	26.5	23.8	21.8	21.3	24.2	23.3	14.9	8.7	27.9	7.7	11.3	5.4	1.8	8.2	4.9	3.3	3.0	16.5	2.38
NHKの地上波テレビ放送(録画再生を含む)	11.6	14.1	16.0	32.2	25.0	9.3	17.9	6.7	9.4	21.8	11.0	17.3	6.1	5.8	3.6	2.0	2.6	28.0	2.12
本・書籍・雑誌(電子版も含む)	25.3	23.8	4.8	2.1	9.1	8.2	25.9	30.0	9.8	6.3	14.3	7.5	21.2	6.2	5.6	1.9	4.3	19.9	2.06
SNS(フェイスブック、ツイッター、インスタグラムなど)	31.1	17.9	12.8	6.8	8.9	19.6	10.0	10.7	15.6	2.3	12.6	2.2	1.2	11.8	15.7	12.8	5.2	32.8	1.97
全国紙(朝日新聞、毎日新聞、読売新聞、日本経済新聞、産経新聞《電子版も含む》)	6.4	13.2	14.8	12.0	29.2	9.6	21.9	4.3	8.9	20.2	12.2	16.9	8.8	4.9	2.3	1.8	2.7	34.7	1.90
地方紙(全国紙以外でお住まいの地域で発行されている一般の新聞《電子版も含む》)	6.8	11.9	35.9	19.6	16.8	5.7	13.6	4.0	9.2	13.0	7.5	12.3	5.8	6.0	3.0	2.2	2.5	34.0	1.76
無料動画配信共有サービス(YouTube、TikTokなど)	44.7	19.2	7.7	2.6	6.6	12.7	8.2	20.4	12.8	2.3	7.6	3.0	2.7	7.1	8.3	3.3	2.9	23.6	1.72
ラジオ	19.4	9.4	17.1	30.2	12.6	8.5	10.0	5.5	6.1	11.3	7.5	8.2	1.7	5.3	3.9	2.7	2.8	31.2	1.62
自治体の地域情報(広報紙、回覧板、防災無線など)	3.3	5.7	37.7	35.2	7.1	2.2	5.8	2.2	5.5	15.6	2.6	13.2	1.3	3.0	1.9	1.8	1.7	26.8	1.46
BS・CS・ケーブルテレビなどの多チャンネル放送(録画再生を含む)	24.4	14.2	6.6	5.2	7.4	8.2	7.6	13.2	4.8	4.3	5.5	3.9	6.5	4.6	5.2	1.4	2.1	41.0	1.25
ネット通販サイトやアプリ(アマゾン、楽天市場、メルカリなど)	12.3	12.7	5.6	1.7	3.2	14.2	4.3	10.8	7.2	2.4	2.7	6.3	19.8	3.1	3.4	2.0	1.9	37.2	1.14
有料動画配信共有サービス(Netflix、Amazon Prime Video、Huluなど)	29.6	8.6	2.2	1.2	2.5	6.0	3.4	15.6	3.5	1.6	2.5	2.7	13.5	3.9	5.2	1.4	1.7	43.8	1.05
まとめサイトやアプリ(各種5ちゃんまとめ、Togetter、ガールズちゃんねるなど)	23.2	10.3	5.2	2.1	5.1	8.0	6.3	5.6	9.4	1.8	7.6	1.7	1.0	4.7	5.2	3.7	2.8	49.5	1.03
ラジオ局のネットサービス(ラジコ、NHKネットラジオなど)	15.3	7.8	8.9	10.7	6.9	5.8	6.1	5.4	4.7	5.4	4.6	4.4	1.7	3.9	3.2	1.8	2.4	52.1	0.99
テレビ番組の見逃し配信サービス(TVerなど)	27.7	8.3	2.8	1.5	2.9	4.6	3.1	9.9	5.3	1.9	2.2	2.8	2.6	3.6	3.7	1.5	1.5	47.7	0.86
有料音楽配信サービス(Spotify、Amazon Music、Apple musicなど)	23.5	6.9	2.0	1.3	1.8	6.2	2.3	12.4	2.9	1.5	1.7	2.6	9.4	2.5	4.0	1.4	1.6	50.9	0.84

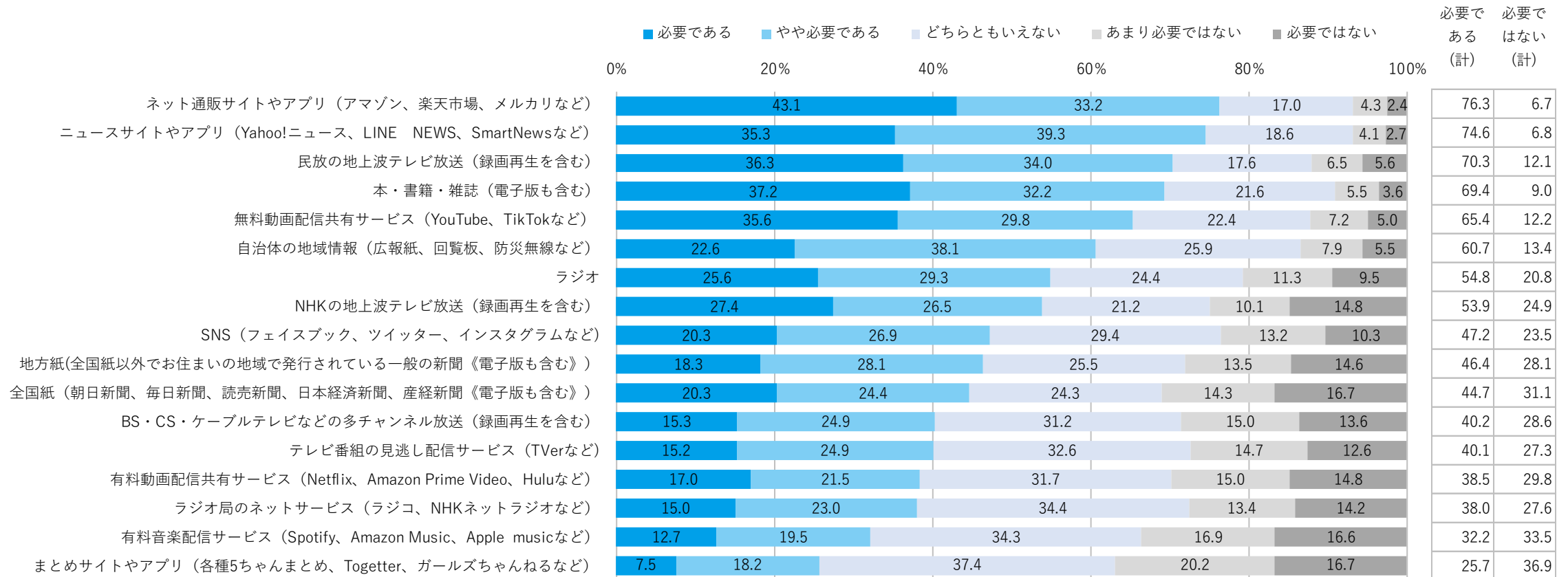
※縦方向：「回答個数平均」のスコアで降順ソート ※横方向：各選択肢の平均値で降順ソート ※スコアが大きいほど濃色に着色

③社会制度の信頼性・耐久性 よりよい人生のために、社会システムは機能しているか

■メディアの必要度

・メディアの必要度を質問したところ、「ネット通販サイトやアプリ（アマゾン、楽天市場、メルカリなど）」76.3%、「ニュースサイトやアプリ（Yahoo!ニュース、LINE NEWS、SmartNewsなど）」74.6%、「民放の地上波テレビ放送（録画再生を含む）」70.3%、「本・書籍・雑誌（電子版も含む）」69.4%、「無料動画配信共有サービス（YouTube、TikTokなど）」65.4%、「自治体の地域情報（広報紙、回覧板、防災無線など）」60.7%が上位に挙がった。（「必要である」「やや必要である」計）

Q.以下の情報源やメディアは、あなたご自身やあなたの生活にとってどれだけ必要なものと感じますか。それぞれについて、あてはまるものをお知らせください。（単一回答）



※「必要である（計）」のスコアで降順ソート

③社会制度の信頼性・耐久性 よりよい人生のために、社会システムは機能しているか

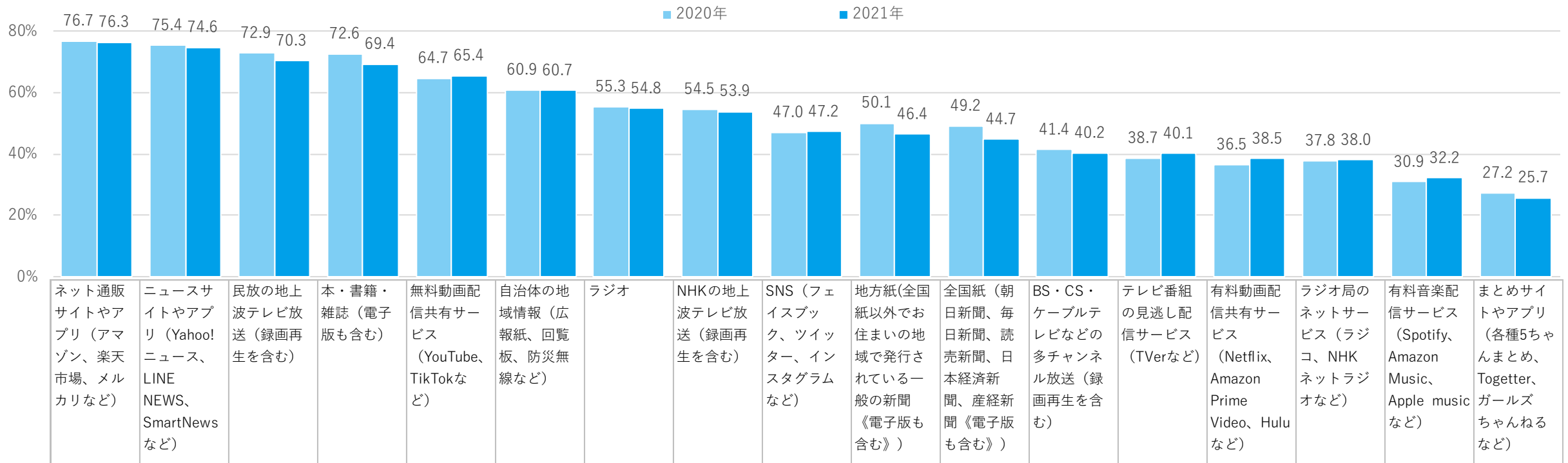
■メディアの必要度

※2020年-2021年の経年比較

- ・情報源やメディアをどれだけ必要と感じているかについては、順位の変動はほぼ見られなかった。
- ・全体的に「そう思う」と答えた割合は横ばいから微減傾向。「本・書籍・雑誌」「全国紙」「地方紙」が他メディアと比較すると減少幅が大きかった。

Q.以下の情報源やメディアは、あなたご自身やあなたの生活にとってどれだけ必要なものと感じますか。それぞれについて、あてはまるものをお知らせください。（単一回答）

経年比較【必要である(計)】



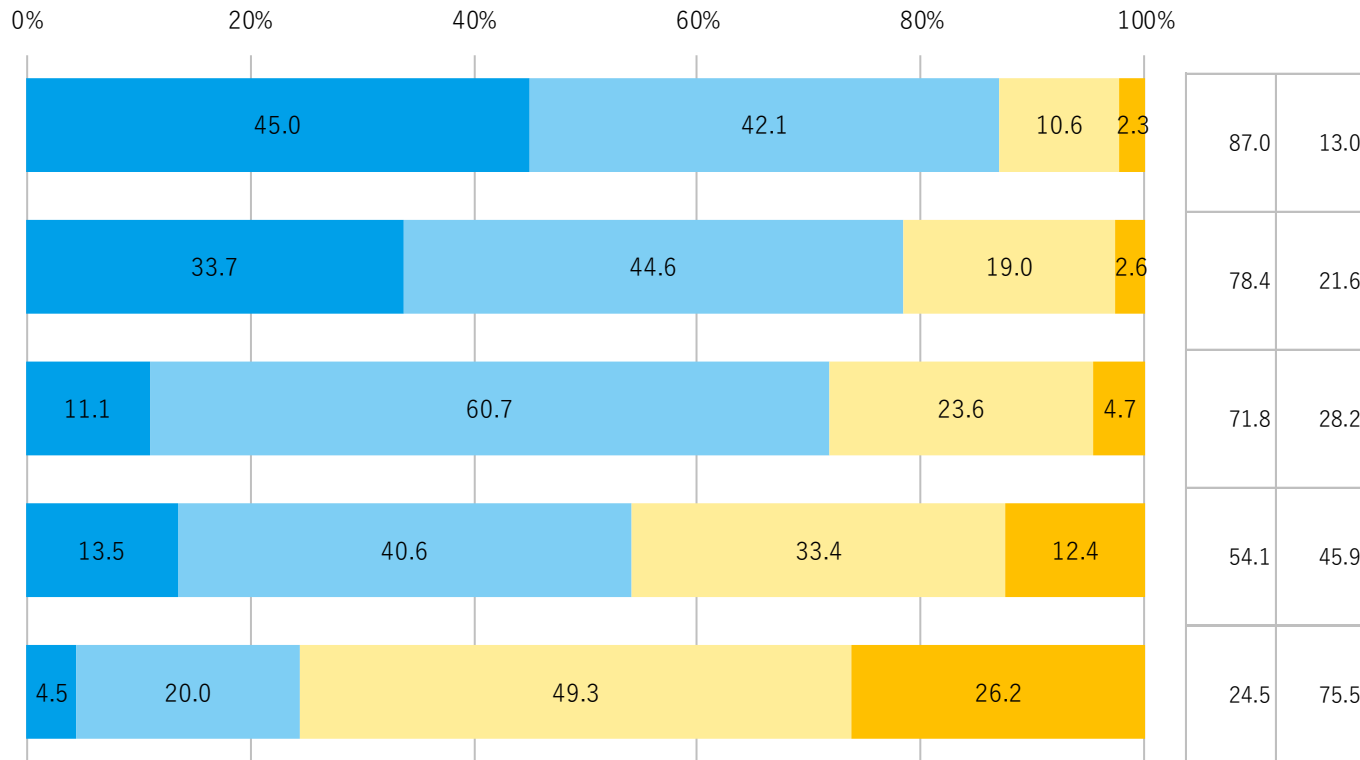
※2021年「必要である(計)」のスコアで降順ソート

■テクノロジーや個人情報についての考え方

・「【A】個人データは、個人が同意した活用方法に限定して利用されるべきだ」87.0%、「【A】個人の行動の結果である履歴データは、個人のものだ」78.4%、「【B】世の中で自動化・AI（人工知能）が発展しても、じっくり自分で考えて答えを出したい」71.8%、「【A】自動化・AI（人工知能）の導入によって、人々の生活は良い影響を受けると思う」71.8%、「【A】社会全体の社会全体の発展のために活用して欲しい」54.1%などの意見が多い。（各々「A/Bに近い（計）」）

Q.以下の事柄について、あなたの考えに近いものをお知らせください。（単一回答）

■ Aに近い ■ どちらかというAに近い ■ どちらかというBに近い ■ Bに近い



※「Aに近い（計）」のスコアで降順ソート

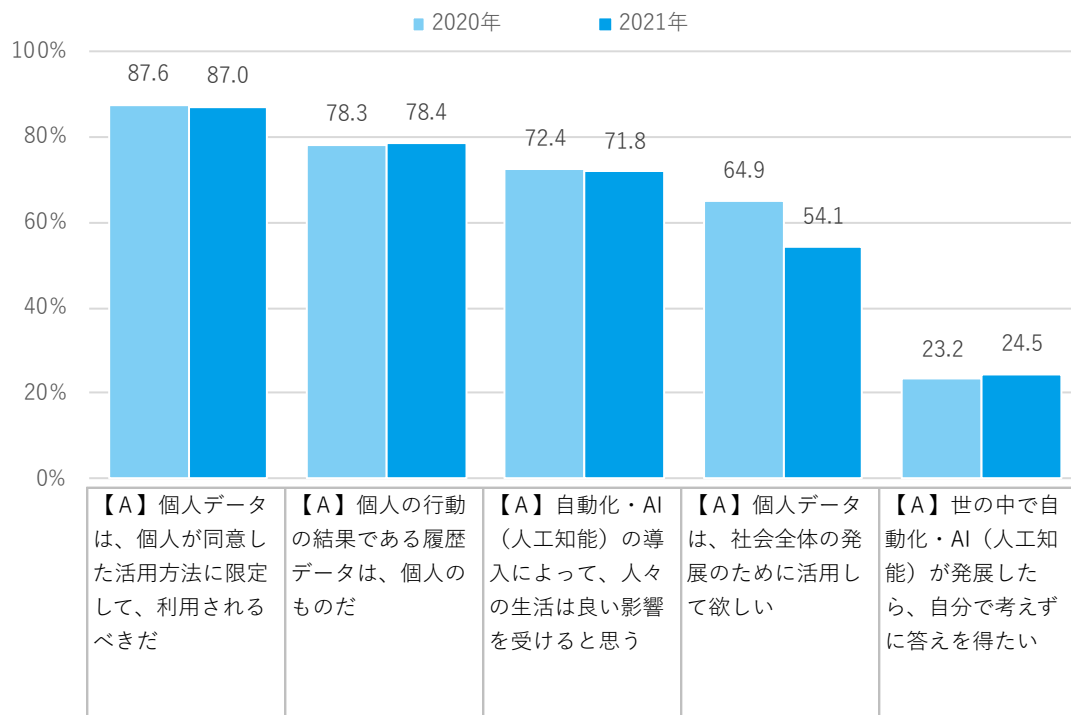
■テクノロジーや個人情報についての考え方

※2020年-2021年の経年比較

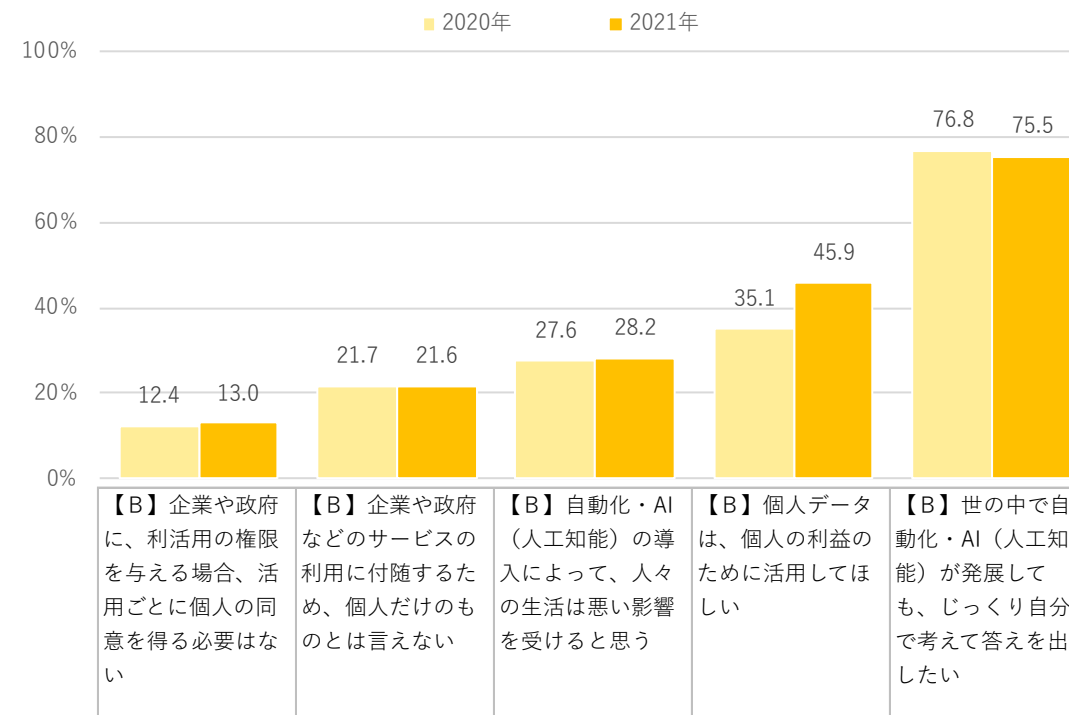
・2020年の結果と比較すると、全体的に横ばい傾向。

Q.以下の事柄について、あなたの考えに近いものをお知らせください。（単一回答）

経年比較【Aに近い(計)】



経年比較【Bに近い(計)】



※2021年「Aに近い(計)」のスコアで降順ソート

※「個人データは社会全体の発展のために活用してほしい」、「個人データは個人の利益のために活用してほしい」については昨年度から文言を修正したため参考数値

③社会制度の信頼性・耐久性 よりよい人生のために、社会システムは機能しているか

より良い社会のためにロボットやAI（人工知能）に期待すること

■より良い社会のためにロボットやAI（人工知能）に期待すること

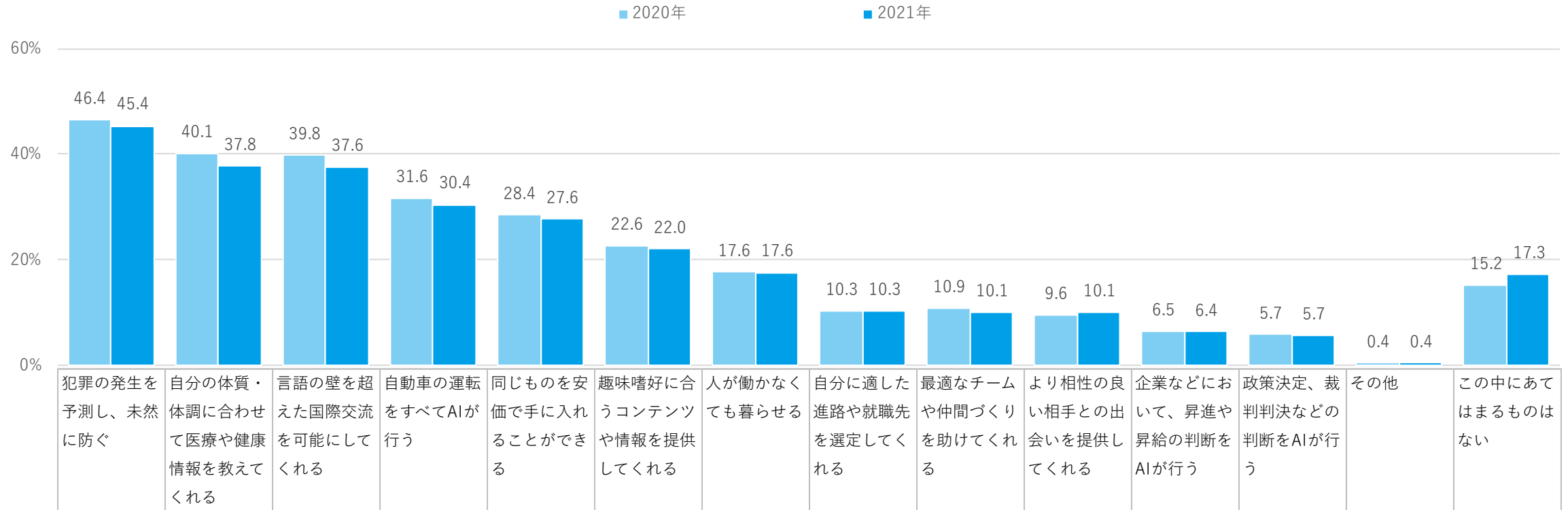
・より良い社会のために、ロボットやAI（人工知能）には以下のようなことが期待されている。

「犯罪の発生を予測し、未然に防ぐ」45.4%、「自分の体質・体調に合わせて医療や健康情報を教えてくれる」37.8%、「言語の壁を超えた国際交流を可能にしてくれる」37.6%、「自動車の運転をすべてAIが行う」30.4%、「同じものを安価で手に入れることができる」27.6%、「趣味嗜好に合うコンテンツや情報を提供してくれる」22.0%

※全体に、情報提供などのサポートへの期待が高く、人間に代わって働いたり、意思決定したりなどへの期待は低い。

・時系列比較では、全体的に横ばいか微減傾向。

Q.より良い社会のために、あなたは、ロボットやAI（人工知能）他の技術にどのような期待をしていますか。次の中から期待しているものを、すべてお知らせください。（複数回答）



※2021年のスコアで降順ソート

③社会制度の信頼性・耐久性 よりよい人生のために、社会システムは機能しているか

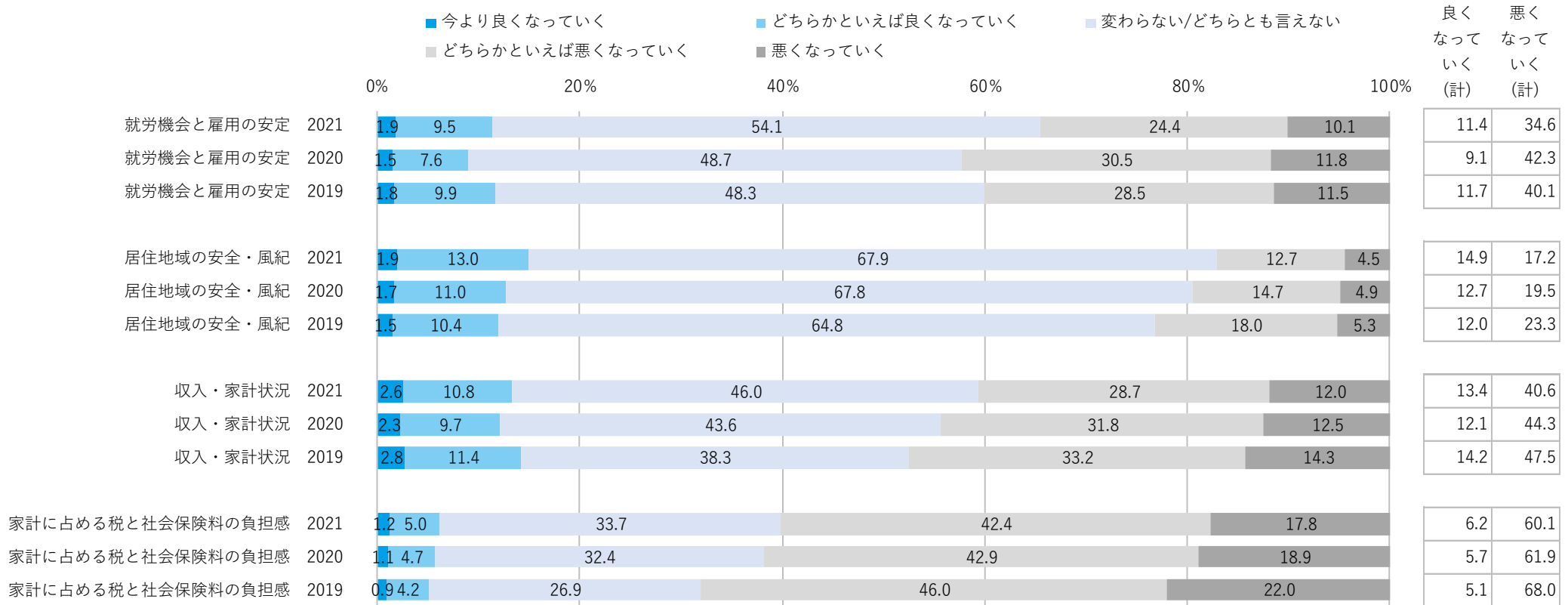
■今後の暮らしの見通し

・今後の暮らし向きは、税負担・収入等悪くなっていくと見通している人が多い。（今より「悪くなっていく」「どちらかといえば悪くなっていく」計）
 「家計に占める税と社会保険料の負担感」60.1%、「収入・家計状況」40.6%、「就労機会と雇用の安定」34.6%、「居住地域の安全・風紀」17.2%

※2019年-2021年の比較

・全体的に2020年と比較して「良くなっていく」と「どちらかといえば良くなっていく」計は増加傾向。
 「悪くなっていく」と「どちらかといえば悪くなっていく」計は減少傾向。

Q.以下の事項について、あなたご自身の今後の見通しをお知らせください。（単一回答）

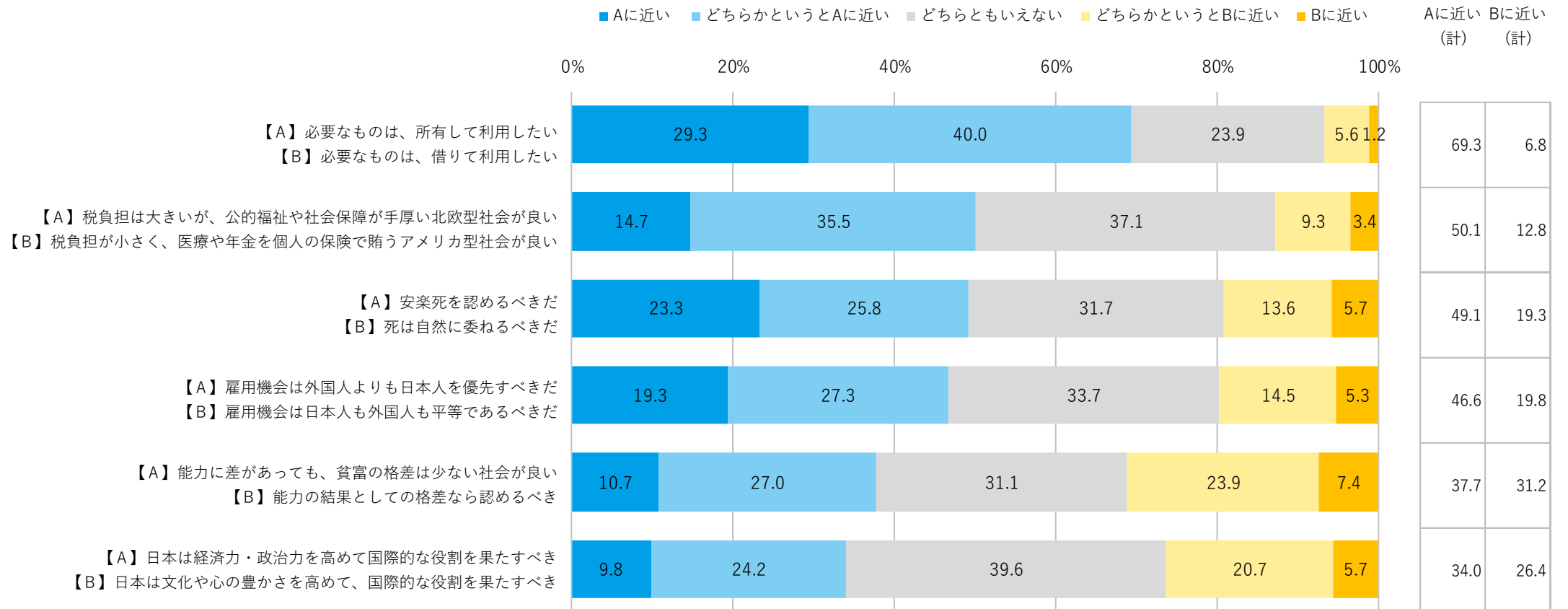


■社会や暮らし方などに関する意見

・社会や暮らし方などに関する意見で、50%を超えるものは以下の通り。

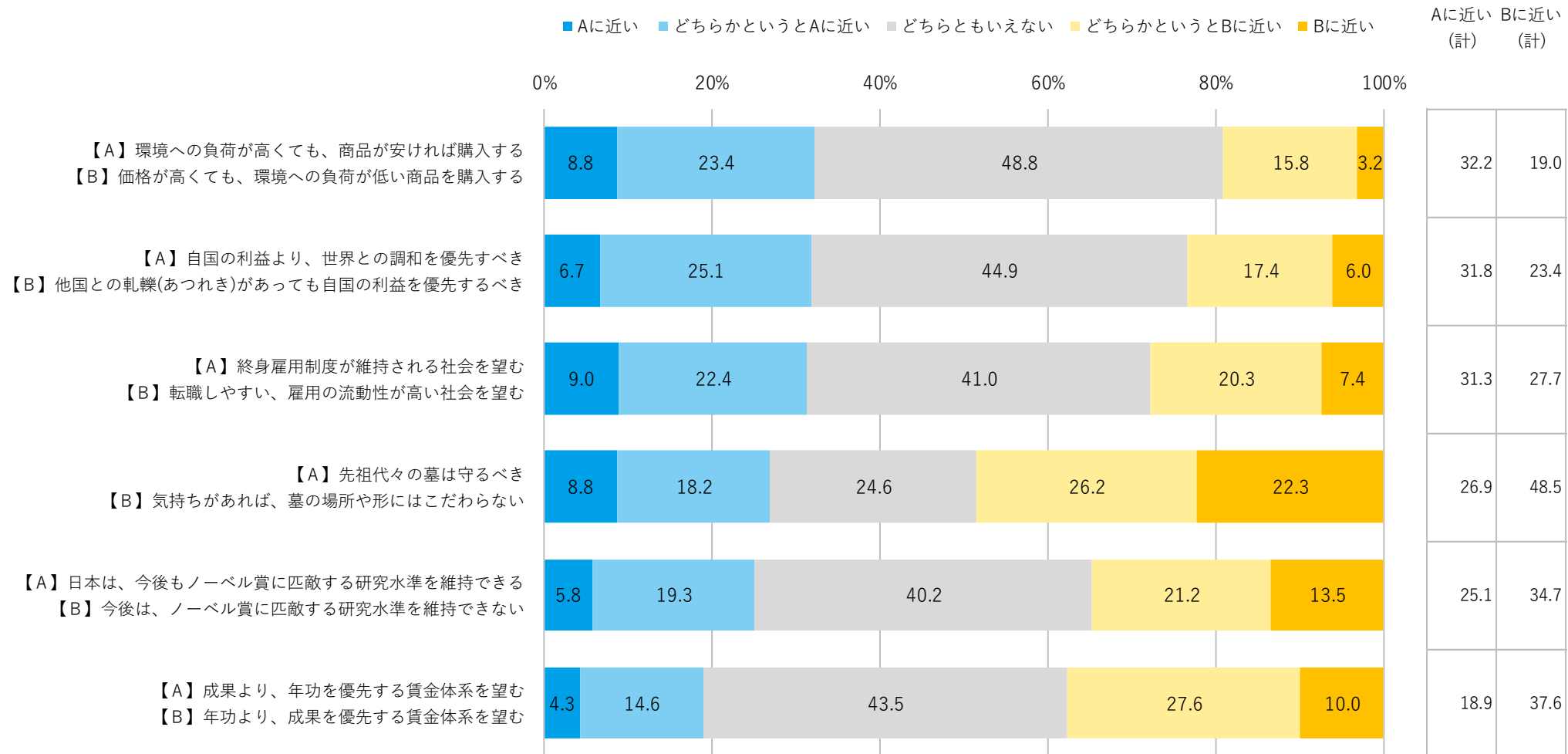
「必要なものは、所有して利用したい」69.3%、「税負担は大きいが、公的福祉や社会保障が手厚い北欧型社会が良い」50.1%。

Q.以下の事柄について、あなたの考えやお気持ちに近いものをお知らせください。（単一回答）



※「Aに近い (計)」のスコアで降順ソート

Q.以下の事柄について、あなたの考えやお気持ちに近いものをお知らせください。（単一回答）



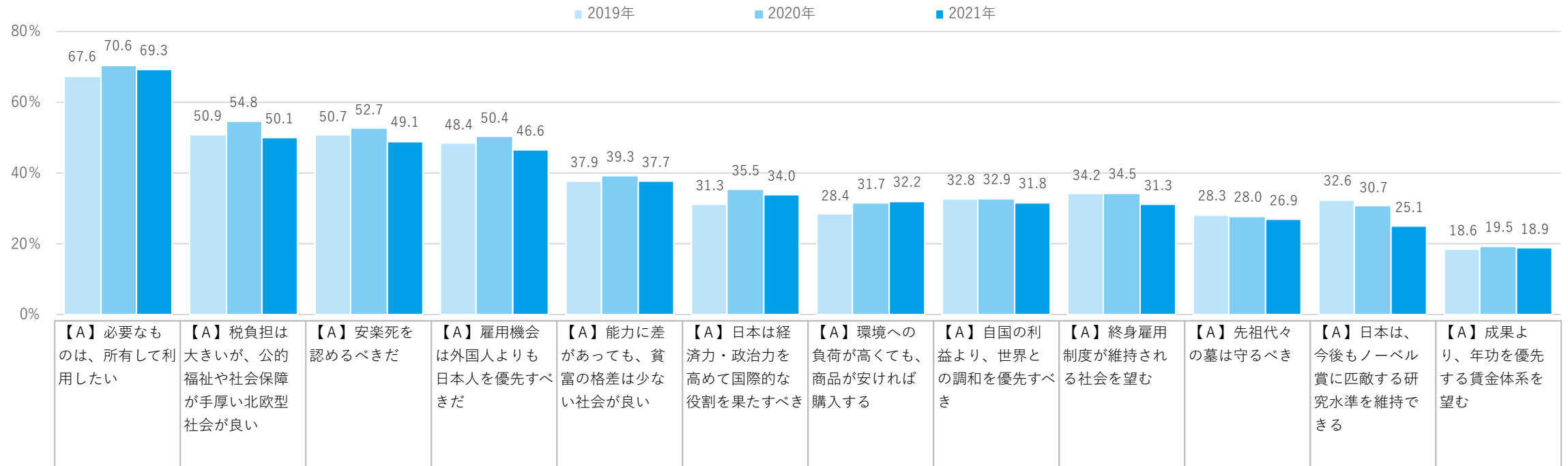
※「Aに近い (計)」のスコアで降順ソート

■社会や暮らし方などに関する意見

- ・2020年、2019年数値との比較
- ・全体的には横ばい傾向だが、「日本は、今後もノーベル賞に匹敵する研究水準を維持できる」が減少傾向。（2020年比-5.6pts、2019年比-7.5pts）

Q.以下の事柄について、あなたの考えやお気持ちに近いものをお知らせください。（単一回答）

経年比較【Aに近い(計)】



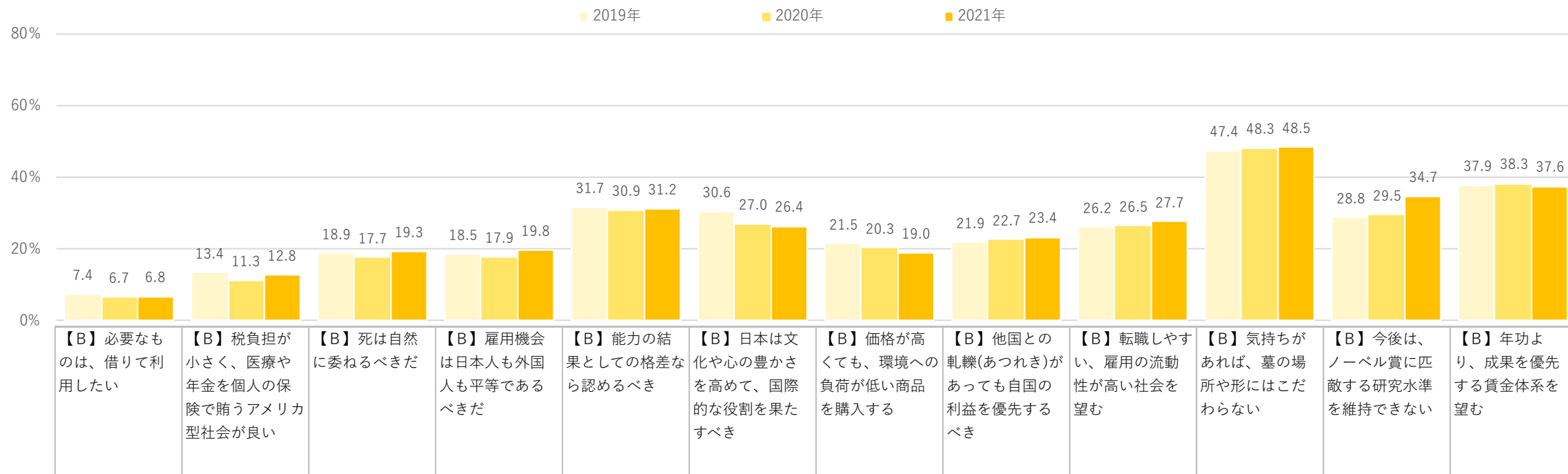
※2021年「Aに近い(計)」のスコアで降順ソート

■社会や暮らし方などに関する意見

- ・2020年、2019年数値との比較
- ・全体的には横ばい傾向だが、「日本は、今後もノーベル賞に匹敵する研究水準を維持できない」が増加傾向。（2020年比+5.2pts、2019年比+5.9pts）

Q.以下の事柄について、あなたの考えやお気持ちに近いものをお知らせください。（単一回答）

経年比較【Bに近い(計)】



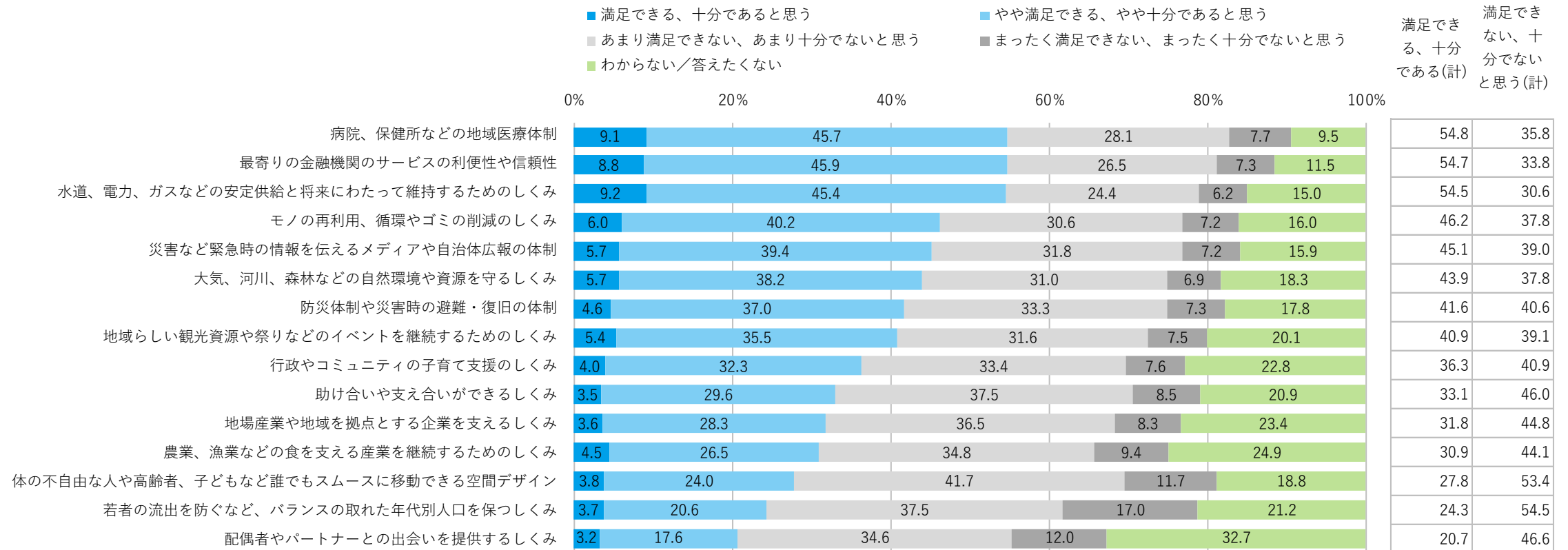
※2021年「Aに近い(計)」のスコアで降順ソート

③社会制度の信頼性・耐久性 よりよい人生のために、社会システムは機能しているか

■地域社会における暮らしを支えるしくみや体制に対する満足度

- ・「満足できる、十分であると思う」「やや満足できる、やや十分であると思う」計が過半数を超えたものは、「病院、保健所などの地域医療体制」54.8%、「最寄りの金融機関のサービスの利便性や信頼性」54.7%、「水道、電力、ガスなどの安定供給と将来にわたって維持するためのしくみ」54.5%。
- ・反対に「まったく満足できない、十分でないと思う」「満足できない、十分でないと思う」計が過半数を超えたものは「若者の流出を防ぐなど、バランスの取れた年代別人口を保つしくみ」54.5%、「体の不自由な人や高齢者、子どもなど誰でもスムーズに移動できる空間デザイン」53.4%。

Q.地域社会における暮らしを支えるしくみや体制についてお伺いします。以下の項目それぞれについて、あなたのお考えに近いものをお選びください。（単一回答）



※「満足できる、十分である(計)」のスコアで降順ソート

③社会制度の信頼性・耐久性 よりよい人生のために、社会システムは機能しているか

■ワクチン接種状況・意向

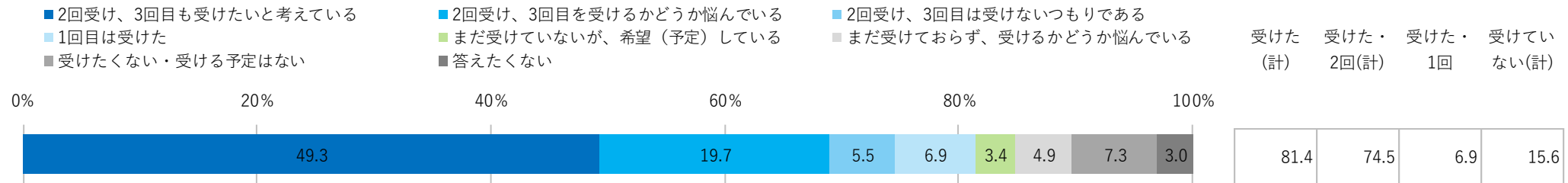
・ワクチン接種を1回以上受けたのは81.4%。2回受けたのは74.5%。3回目も受けたいと考えているのは49.3%だった。

■感染症対策に対する行動・気持ち

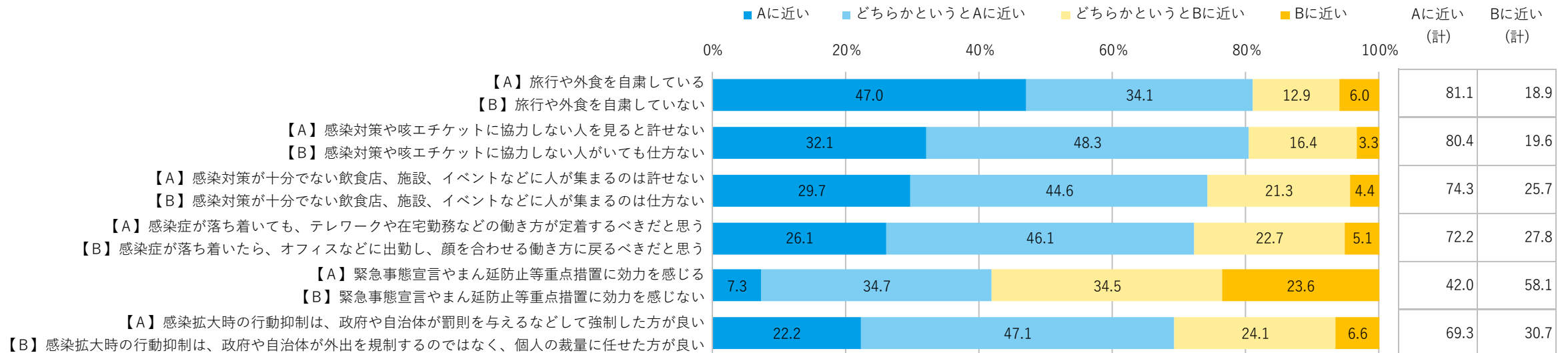
・「旅行や外食を自粛している」81.1%。「感染対策や咳エチケットに協力しない人を見ると許せない」80.4%となった。

・「感染拡大時の行動抑制は、政府や自治体が罰則を与えるなどして共生したほうが良い」69.3%。

Q.新型コロナウイルス感染症のワクチン接種について、あなたはどれにあてはまりますか。（単一回答）



Q.新型コロナウイルス感染症に対する対策として、現在のあなたの行動やお気持ちに近いものをお知らせください。（単一回答）



③社会制度の信頼性・耐久性 よりよい人生のために、社会システムは機能しているか

■調査結果を踏まえて

1. 今後の暮らし向きは、税負担・収入等悪くなっていくと見通している人が多い。
2. 社会保障では「国民皆保険」「医療（予防、診断、治療サービス）」は37%、「高等教育の無償化」は29%が「安心感がある」と回答。
3. 「情報源やメディア」には「正しい情報」「信頼できる情報」「お金を払う価値のある情報」等を期待している。
4. メディアの必要度は「ネット通販サイトやアプリ」76.3%、「ニュースサイトやアプリ」74.6%、「民放の地上波テレビ放送」70.3%
5. 社会や暮らし方などに関しては、「必要なものは、所有して利用したい」69.3%、「公的福祉や社会保障が手厚い北欧型社会が良い」50.1%。
6. 地域社会における暮らしを支えるしくみ、「満足できる・十分である」1位は「病院、保健所などの地域医療体制」54.8%
反対に「満足できない・十分でない」1位は「若者の流出を防ぐなど、バランスの取れた年代別人口を保つしくみ」54.5%
7. ロボットやAI（人工知能）への期待は高いが、人間をサポートする役割を望んでおり人間の仕事や意思決定の代替等への期待は少ない。

■社会制度の課題

- ・人びとは見通し不安の中でやや立ちすくみ、将来の安定が欲しい。北欧型社会保障のような「一寸先は闇ではない社会」を期待か。
- ・様々な情報源やメディアを通して「正しい、信頼できる情報」を提供することへの期待が高まっている。
- ・全体では、インターネット系のみでなく従来メディアなども含め、幅広いメディアが依然として社会的役割を果たしている。
- ・個人データを保有する企業/団体への信頼度は全般に低い。今後の個人データ活用の方向性に関わらず、この状況を踏まえることが必要。
- ・ロボットやAIなどに人間の意思決定などの役割もゆだねるか否か、テクノロジーによる社会変化に対する、社会的合意形成が必要。
- ・地域の医療体制には満足感。一方で過疎化や若年層の流出など、地域のサステナビリティに大きな課題感。

第3回「クオリティ・オブ・ソサエティ年次調査」レポート

人びとと社会の現在地を把握

「クオリティ・オブ・ソサエティ年次調査」2021年版

電通総研・電通未来予測支援ラボ

2021年12月発行

お問い合わせ

電通総研：山崎、千葉、日塔

〒105-7050 東京都港区東新橋1丁目8-1

E-mail d-ii@dentsu.co.jp

株式会社電通

電通未来予測支援ラボ：小椋、立木、小野

〒105-7001 東京都港区東新橋1丁目8-1

E-mail: future@dentsu.co.jp

〈分析協力〉

株式会社電通マクロミルインサイト

〈禁無断転載〉

引用の際には、出所として

「クオリティ・オブ・ソサエティ年次調査」電通総研・電通未来予測支援ラボ
とご記載ください。